

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X half

X-HF1

FF240003

使用説明書

BL00005383-100

JA

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記ウェブサイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>



章目次

1	はじめに	xi
2	このカメラの概要	1
3	撮影の準備	21
4	撮影	43
5	画像の再生と再生メニュー	73
6	ネットワーク /USB 機能と設定メニュー	87
7	撮影メニュー	105
8	セットアップメニュー	123
9	資料	145



目次

最新情報について	ii
----------------	----

1 はじめに xi

メニュー一覧	xii
撮影メニュー	xii
セットアップメニュー	xiii
ネットワーク / USB 設定メニュー	xiv
再生メニュー	xv
付属品一覧	xvi
本書について	xvii
本書で使われている記号について	xvii
画面のイラストや写真について	xvii
表記について	xvii

2 このカメラの概要 1

カメラの各部名称と機能	2
静止画 / 動画切替スイッチ	4
絞りリング	4
露出補正ダイヤル	4
フレーム切り替えレバー	5
フラッシュスイッチ	6
銘板プレート	6
ビューファインダー	6
インジケータースランプ	7
撮影時の表示画面	8
液晶モニター / サブ液晶モニターの表示画面	8
アイセンサー	10
LCD の明るさ・鮮やかさ調整	10
電子水準器について	11
タッチ操作について	12
撮影時のタッチ操作	12
再生時のタッチ操作	17
メニュー画面でのタッチ操作	20

3	撮影の準備	21
	スマートフォンにアプリケーションをインストールする.....	22
	ストラップを取り付ける.....	23
	ハンドストラップの取り付け.....	23
	ショルダーストラップの取り付け.....	24
	バッテリーとメモリーカードを入れる.....	27
	使用可能なメモリーカード.....	30
	バッテリーを充電する.....	32
	電源をオンにする / オフにする.....	36
	バッテリー残量の表示.....	37
	初期設定を行う.....	38
	言語を変更する.....	41
	日時を変更する.....	41
4	撮影に関する設定	43
	静止画を撮影する.....	44
	動画を撮影する.....	46
	撮影モードを変更する.....	48
	フィルムシミュレーションとフィルター.....	50
	フィルムシミュレーション.....	51
	フィルター.....	53
	2in1 撮影.....	54
	フィルムカメラモード.....	56
	フィルムカメラモードで撮影する.....	56
	撮影したパトローネを確認する.....	59
	フィルムカメラモードの表示画面.....	60
	オートフォーカス撮影.....	62
	フォーカスモード.....	63
	AF モードの選択.....	64

マニュアルフォーカス撮影	66
ピントの確認方法	68
ISO 感度を変更	69
露出補正	70
AE/AF ロック撮影	71

5 画像の再生と再生メニュー **73**

再生時の表示画面	74
画像の再生と消去	76
画像を再生する	76
画像を消去する	78
再生メニュー	79
消去	79
プロテクト	82
レーティング	83
フィルタリング	84
1:1 フレーム合成	84
スライドショー動画作成	85
instax プリンタープリント	86
instax 画質モード	86
 	86

6 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー **87**

ネットワーク /USB 機能の概要	88
このカメラでできること	88
スマートフォンアプリケーションを使用する	89
スマートフォンにアプリケーションをインストールする	89
カメラとスマートフォンを接続する	90
スマートフォンアプリケーションを使用する	91
USB カードリーダーとして使用する	92
パーソナルコンピュータに画像を転送する	92

instax プリントする	95
プリンターとの接続を設定する	95
画像をプリントする	97
ネットワーク / USB 設定	99
Bluetooth/ スマートフォン設定	99
機内モード	101
instax 画質モード	102
USB 給電 / 通信設定	102
ネットワーク / USB 設定初期化	103

7 撮影メニュー

105

撮影設定	106
📷 撮影モード	106
画像サイズ	106
📷 セルフタイマー	107
動画設定	108
🎥 撮影モード	108
スロースト	108
ビットレート	108
ファイル形式	109
🎥 セルフタイマー	109
🎥 REC 枠表示	110
タリールンプ	111
画質設定	112
フィルムシミュレーション / フィルター設定	112
グレイン・エフェクト	113
美肌レベル	113
ホワイトバランス	114
長秒時ノイズ低減	116

フォーカス設定.....	117
フォーカスモード.....	117
👤 顔検出 / 瞳 AF 設定.....	118
AF 補助光.....	120
AF モード.....	120
MF アシスト.....	120
オーディオ設定.....	121
内蔵マイクレベル設定.....	121
ヘッドホン音量.....	121
風音低減.....	122
マイクレベルリミッター.....	122
ローカットフィルター.....	122

8 セットアップメニュー

123

セットアップメニュー (基本設定).....	124
フォーマット.....	124
🏠 エリア設定.....	125
日時設定.....	125
世界時計.....	126
🗣️ 言語/LANG.....	126
ファームウェアアップデート.....	127
アクティビティレコード.....	127
リセット.....	128
サポート Web サイト.....	129
認証.....	129
シャッター回数.....	129
セットアップメニュー (カスタム設定).....	130
分割線設定.....	130
2in1 撮影順.....	131
日付入り撮影.....	131
コンタクトシート背景色.....	131

セットアップメニュー (音設定).....	132
AF 合焦音量.....	132
セルフタイマー音量.....	132
操作音量.....	133
🔊 REC 開始終了音量.....	133
シャッター音量.....	133
シャッター音.....	134
再生音量.....	134
セットアップメニュー (表示設定).....	135
アイセンサー.....	135
LED インジケーター.....	135
LCD 明るさ.....	136
LCD 鮮やかさ.....	136
LCD 色調整.....	136
撮影画像表示.....	137
情報表示.....	137
電子水準器設定.....	137
フレーミングガイド.....	138
マイクレベル表示.....	138
位置情報表示.....	138
セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定).....	139
フォーカスリング操作.....	139
カードなしリリース.....	139
📷 ダブルタップ拡大.....	140
セットアップメニュー (消費電力設定).....	141
自動電源 OFF.....	141
パフォーマンス.....	142
自動電源 OFF 温度.....	142
セットアップメニュー (保存設定).....	143
コマ NO.....	143
位置情報記録.....	144

カメラで使えるアクセサリ.....	146
カメラで使えるソフトウェア・サービス.....	147
スマートフォン用アプリケーション.....	147
お取り扱いにご注意ください.....	148
お手入れについて.....	164
ファームウェアの更新.....	165
ファームウェアのダウンロード.....	165
ファームウェアの更新方法.....	165
トラブルシューティング /FAQ.....	167
電源とバッテリー.....	167
メニューなどの設定時.....	169
撮影時.....	170
再生時.....	173
接続時.....	174
無線通信.....	175
その他.....	176
警告表示.....	177
標準撮影枚数 / 記録時間.....	182
主な仕様.....	183
索引.....	190
ソフトウェアのお問い合わせ.....	193
アフターサービスについて.....	194

はじめに

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

静止画撮影や動画撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (p.105)。

 撮影設定	
 撮影モード	106
画像サイズ	106
 セルフタイマー	107

 動画設定	
 撮影モード	108
スロー動画	108
ビットレート	108
ファイル形式	109
 セルフタイマー	109
 REC 枠表示	110
タリーランプ	111

 画質設定	
フィルムシミュレーション/ フィルター設定	112
グレイン・エフェクト	113
美肌レベル	113
ホワイトバランス	114
長秒時ノイズ低減	116

 フォーカス設定	
フォーカスモード	117
 顔検出 / 瞳 AF 設定	118
AF 補助光	120
AF モード	120
MF アシスト	120

 オーディオ設定	
内蔵マイクレベル設定	121
ヘッドホン音量	121
風音低減	122
マイクレベルリミッター	122
ローカットフィルター	122

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。



設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (123)。

基本設定	
フォーマット	124
エリア設定	125
日時設定	125
世界時計	126
言語/LANG.	126
ファームウェアアップ デート	127
アクティビティレコード	127
リセット	128
サポート Web サイト 認証	129
シャッター回数	129

カスタム設定	
分割線設定	130
2in1 撮影順	131
日付入り撮影	131
コンタクトシート背景色	131

音設定	
AF 合焦音量	132
セルフタイマー音量	132
操作音量	133
REC 開始終了音量	133
シャッター音量	133
シャッター音	134
再生音量	134

表示設定	
アイセンサー	135
LED インジケーター	135
LCD 明るさ	136
LCD 鮮やかさ	136
LCD 色調整	136
撮影画像表示	137
情報表示	137
電子水準器設定	137
フレーミングガイド	138
マイクレベル表示	138
位置情報表示	138

操作ボタン・ダイヤル設定		目次
フォーカスリング操作	139	
カードなしリリース	139	
📷ダブルタップ拡大	140	

保存設定		目次
コマ NO.	143	
位置情報記録	144	

消費電力設定		目次
自動電源 OFF	141	
パフォーマンス	142	
自動電源 OFF 温度	142	

ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク /USB 機能の設定を変更するメニューです。

 詳細はネットワーク /USB 設定メニューをご覧ください (目次 99)。

ネットワーク /USB 設定		目次
Bluetooth/ スマートフォン 設定	99	
機内モード	101	
instax 画質モード	102	
USB 給電 / 通信設定	102	
ネットワーク /USB 設定 初期化	103	

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。



詳細は再生メニューをご覧ください (📖 79)。

再生メニュー	📖
消去	79
プロテクト	82
レーティング	83
フィルタリング	84
1:1 フレーム合成	84

再生メニュー	📖
スライドショー動画作成	85
instax プリンタープリント	86
instax 画質モード	86
↔	86

付属品一覧

ご使用前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- レンズキャップ (一式) (本体に装着)
- ストラップリング (2 個)
- ストラップリング取り付け補助具 (1 個)
- ストラップリングカバー (2 枚)
- プロテクター (2 個)
- ハンドストラップ (1 本)
- コールドシューカバー (1 個) (本体に装着)
- ヘッドホン用アダプター (1 個)
- 使用説明書 (基本操作編)
- 保証書 (1 部)



ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください (図 32)。



- ヘッドホン用アダプターは USB 端子 (Type-C) をヘッドホン端子 (φ 3.5mm) に変換するときに使用します。
- このカメラで使用できるソフトウェアについては、図 147 をご覧ください。

本書について

この説明書には、富士フイルムデジタルカメラ X half の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

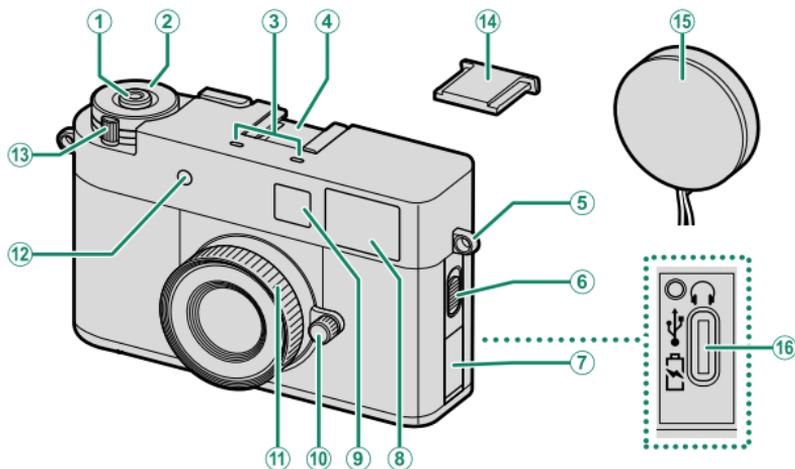
表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- このカメラは、ビューファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ビューファインダーを「**OVF**」、液晶モニターを「**LCD**」と表記する場合があります。
- メニューなどのカメラの表示は**太字**で表記しています。
- 本書では、スマートフォンとタブレットを併せて「**スマートフォン**」と表記する場合があります。

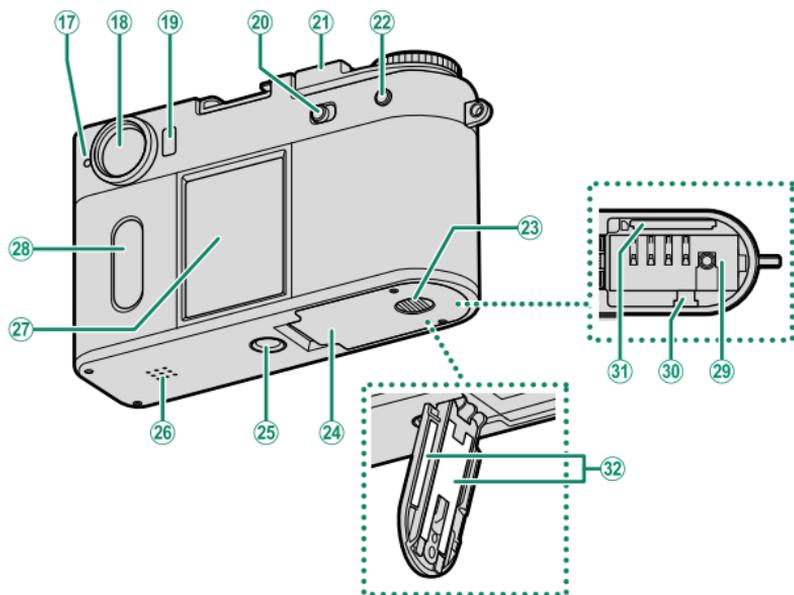
このカメラの概要

2

カメラの各部名称と機能



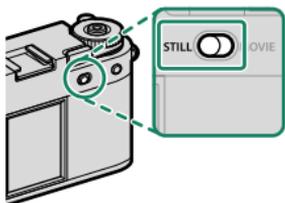
- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ① シャッターボタン | ⑩ 絞りリング.....4 |
| ② 露出補正ダイヤル.....4 | ⑪ フォーカスリング.....61、66 |
| ③ マイク | ⑫ セルフタイマーランプ
タリーランプ |
| ④ コールドシュー | ⑬ 電源レバー.....36 |
| ⑤ ストラップ取り付け部.....23 | ⑭ コールドシューカバー |
| ⑥ フラッシュスイッチ.....6 | ⑮ レンズキャップ |
| ⑦ 端子カバー | ⑯ USB 端子 (Type-C).....32 |
| ⑧ ビューファインダー.....6 | |
| ⑨ フラッシュ
ビデオライト
AF 補助光ランプ | |



- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| ①⑦ インジケータランプ.....7 | ②⑥ スピーカー.....77 |
| タリランプ | |
| ①⑧ ビューファインダー.....6 | ②⑦ 液晶モニター (LCD).....8 |
| ①⑨ アイセンサー.....10 | タッチパネル.....12 |
| ②⑩ 静止画 / 動画切替スイッチ | ②⑧ サブ液晶モニター (LCD) |
|4、44 | タッチパネル.....12 |
| ②① フレーム切り替えレバー.....5 | ②⑨ バッテリー挿入部.....27 |
| ②② PLAY (再生) ボタン.....76 | ③① バッテリー取り外しつまみ |
| ②③ バッテリーカバーロック.....27 |29 |
| ②④ バッテリーカバー.....27 | ③② メモリーカードスロット.....27 |
| ②⑤ 三脚用ねじ穴 | ③③ 銘板プレート.....6 |

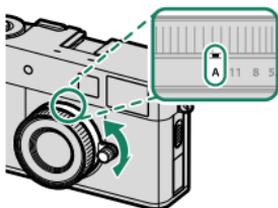
静止画 / 動画切替スイッチ

静止画を撮影するときは静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。動画を撮影するときは **MOVIE** に合わせます。



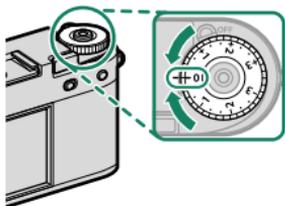
絞りリング

撮影モードが **A** または **M** のときに絞りリングを回すと絞り値を設定できます (図 48)。絞りリングを **A** に合わせるとカメラが自動で絞り値を設定します。



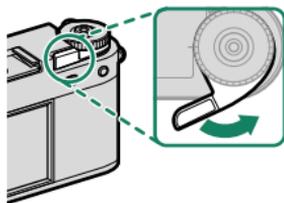
露出補正ダイヤル

露出補正ダイヤルで、露出を補正できます。



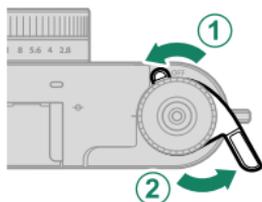
フレーム切り替えレバー

2つの画像を1つに収めた2in1画像が作成できます (54)。

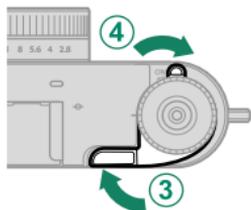


フレーム切り替えレバーの使い方

電源レバーをオンの位置にしてから (①)、フレーム切り替えレバーを引いてください (②)。



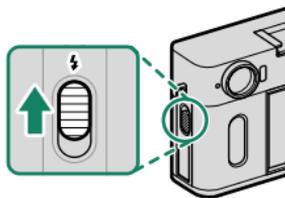
電源をオフにするときは、フレーム切り替えレバーを押し込みながら (③)、電源レバーをオフの位置にしてください (④)。



電源レバーがオフの位置のときにフレーム切り替えレバーを無理に引いたり、押し込んだりしないでください。故障の原因になります。

フラッシュスイッチ

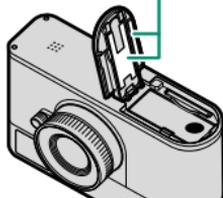
フラッシュスイッチを  に合わせると、静止画撮影時はフラッシュが発光します。動画撮影時はビデオライトが点灯します。



銘板プレート

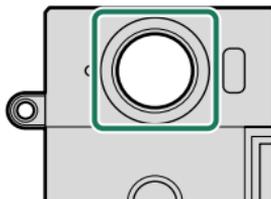
銘板プレートには CMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので取り外さないでください。

銘板プレート



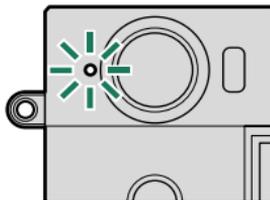
ビューファインダー

ビューファインダーで構図を確認できます。



インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。 画像をスマートフォンに転送しています。*1
橙色点灯	動画を記録しています。*2
橙色点滅	フィルムカメラモードでフレーム切り替えレバーを引かずにシャッターボタンが押されています。
青色点灯	2in1 撮影中です。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

*1 転送予約した画像がある場合

*2  動画設定 > タリーランプが点灯の場合

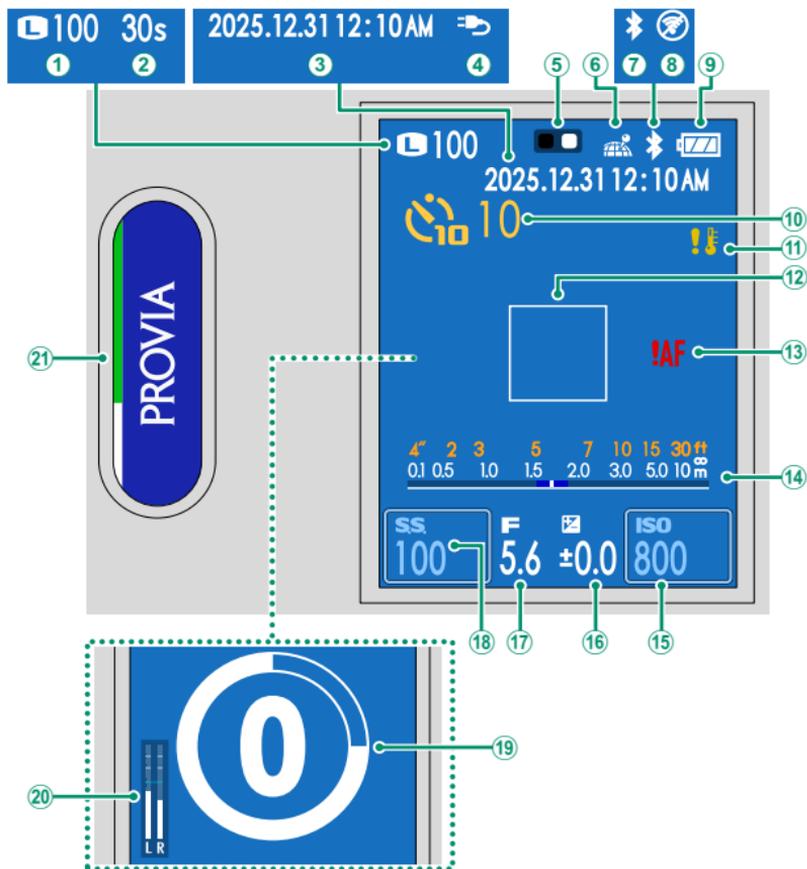
 **動画設定 > タリーランプ**で、動画記録中のインジケータランプの点灯や点滅の設定ができます。

撮影時の表示画面

撮影時は液晶モニターとサブ液晶モニターに次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

液晶モニター／サブ液晶モニターの表示画面

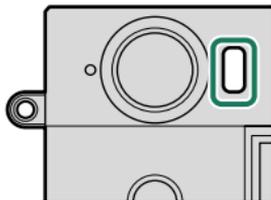


- | | |
|---|---|
| ① 画像サイズ／撮影可能枚数*
..... 106、182 | ⑫ AF フレーム 64、71 |
| ② 記録経過時間..... 46 | ⑬ AF 警告 7、177 |
| ③ 日付・時刻..... 38、41、125 | ⑭ 距離指標バー 68 |
| ④ 給電状態 34 | ⑮ ISO 感度 13、69 |
| ⑤ 2in1 ガイド* 54 | ⑯ 露出補正 4、70 |
| ⑥ 位置情報取得状態 89、144 | ⑰ 絞り値 4、48 |
| ⑦ Bluetooth ON/OFF | ⑱ シャッタースピード
..... 13、48 |
| ⑧ 機内モード 101 | ⑲  セルフタイマー 109 |
| ⑨ バッテリー残量表示 37 | ⑳ マイクレベル 121 |
| ⑩  セルフタイマー 107 | ㉑ フィルムシミュレーション/
フィルター 15、50 |
| ⑪ 温度警告 29、181 | |

* 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

アイセンサー

ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、LCDが自動的に消灯します。目を離すとLCDが点灯します。**表示設定 > アイセンサー**でアイセンサーの機能のオンとオフを切り替えることができます。



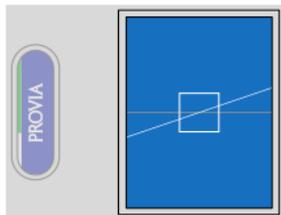
注意 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。

LCDの明るさ・鮮やかさ調整

屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > LCD明るさ、LCD鮮やかさ**で液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整します。

電子水準器について

カメラの傾きを表示します。**表示設定** > **電子水準器設定**で表示の設定を切り替えることができます。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときに使用します。



- **OFF** の場合：電子水準器を表示しません。
- **ON** の場合：水平方向の傾きを白い線で表示します。カメラが水平になると、線が緑色で表示されます。

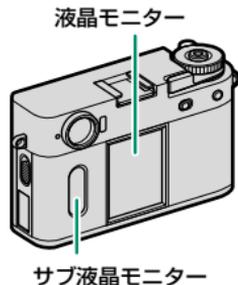
タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニターやサブ液晶モニターをタッチパネルとして使用して、撮影時の設定や再生画像の選択などの操作ができます。



画面を指で1回触れることを「タップ」、画面上を指でそれぞれの方向に向かって掃くように動かすことを「スワイプ」と表記しています。

- 「液晶モニター」は撮影設定の変更や再生する画像の選択、メニューの選択などができます。
- 「サブ液晶モニター」は使用するフィルムシミュレーションの選択や、画像再生時の操作、メニューの操作ができます。

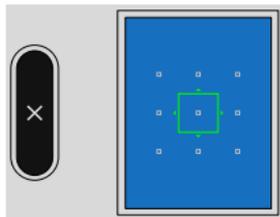


撮影時のタッチ操作

撮影時はタッチ操作で撮影の設定を変更したり、表示画面を切り替えたりできます。

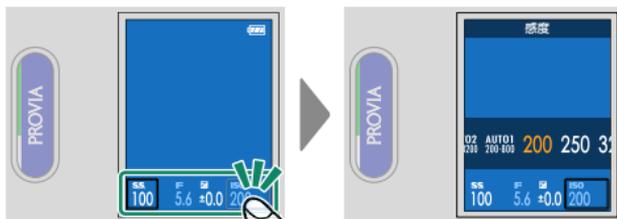
タッチ AF

AFモードがエリア選択のときに液晶モニターをタップすると、選んだエリアにピントを合わせることができます。



撮影の設定変更

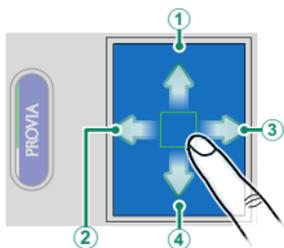
液晶モニターのシャッタースピード、ISO 感度をタップすると、それぞれの設定を変更できます。変更できる項目には枠が表示されます。



シャッタースピードは撮影モードが **S** または **M** のときに変更できます。

撮影画面の切り替え

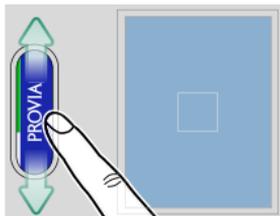
撮影画面で液晶モニターを上下左右にスワイプすると、メニュー画面などを表示できます。



スワイプする方向	説明
① 上にスワイプ	撮影の設定の一覧を表示します。設定項目をタップすると、それぞれの設定画面に移動できます (16)。
② 左にスワイプ	撮影メニューやセットアップメニュー、ネットワーク / USB 設定メニューを表示します (20)。
③ 右にスワイプ	フィルムシミュレーションとフィルターの切り替え画面を表示します。
④ 下にスワイプ	Bluetooth 機器とのペアリングをしたり、フィルムカメラモードで撮影したりできます (90)。

フィルムシミュレーション/フィルター設定の設定変更

液晶モニターを右にスワイプしてフィルムシミュレーションまたはフィルターを選んでから、サブ液晶モニターを上下にスワイプすると、フィルムシミュレーションやフィルターの設定を変更できます (50)。



- フィルムシミュレーションで **ACROS** を選んだときは、液晶モニターでフィルターの設定ができます。
- フィルターで **パートカラー** を選んだときは、液晶モニターで残す色を設定できます。 **期限切れフィルム** を選んだときは退色の色味を設定できます。

フィルムカメラモードについて

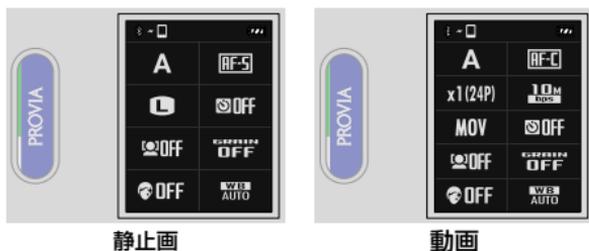
静止画撮影時に液晶モニターを下にスワイプしてからフィルムカメラモードをタップすると、フィルムカメラモードに切り替わり、フィルムカメラのような撮影体験ができます。フレーム切り替えレバーを引くごとに撮影ができます。



- フィルムカメラモードの間はメニュー画面や再生画面を表示できません。あらかじめ設定したフィルムの枚数を撮影するか、サブ液晶モニターをダブルタップ (すばやく 2 回タップ) してフィルムカメラモードを終了してください。
- フィルムカメラモードで撮影した画像はスマートフォンアプリケーション上で再生できます。
- フィルムカメラモードのときはメモリーカードを抜かないでください。メモリーカードを抜くとフィルムカメラモードを再開できないことがあります。

撮影設定の一覧表示

撮影画面で液晶モニターを上にはスワイプすると、撮影の設定の一覧を表示します。設定項目をタップすると、それぞれの設定画面に移動できます。静止画撮影時と動画撮影時で表示される項目が異なります。



表示される項目は次の通りです。

静止画撮影時

- 撮影モード
- 画像サイズ
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- 美肌レベル

動画撮影時

- 撮影モード
- スロー動画
- ファイル形式
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- 美肌レベル
- フォーカスモード
- セルフタイマー
- グレイン・エフェクト
- ホワイトバランス

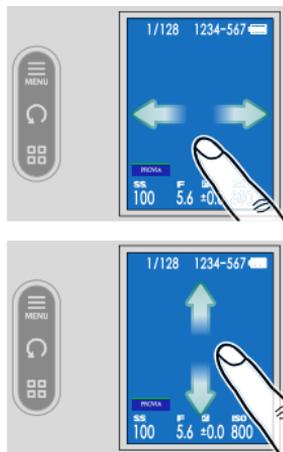
再生時のタッチ操作

再生時はタッチ操作で再生する画像の選択や画像の拡大や縮小などができます。

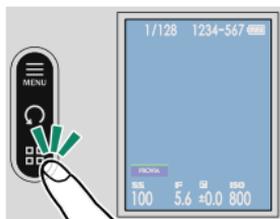
静止画や動画の再生

静止画や動画の再生時に液晶モニターの画面を左右にスワイプすると、前後の画像を表示できます（ 76）。

液晶モニターの画面を上下にスワイプすると、情報表示のオンとオフの切り替えができます。



サブ液晶モニターのボタンをタップすると、再生メニューの表示や画像の回転、画面表示の切り替えができます。

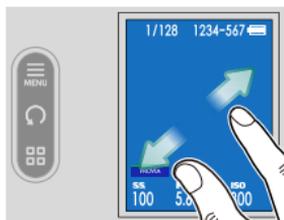


ボタン	意味
 再生メニュー	再生メニューを表示します (図 79)。
 回転	画像を反時計回りに 90° 回転します。
  1 コマ表示 / 9 コマ表示	画面に表示する画像の数を変更します。9 コマ表示のときは液晶モニターを上下にスワイプするとスクロールできます。

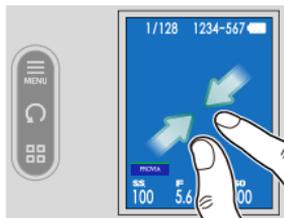
静止画の拡大と縮小

1 コマ表示で静止画を表示しているときに2本の指で液晶モニターをタッチすると、画像の拡大や縮小ができます。

静止画の再生中に液晶モニター上でピンチアウトする（2本の指を広げるように動かす）と、画像を拡大表示できます。



ピンチインする（2本の指をつまむように動かす）と、画像を縮小表示できます。



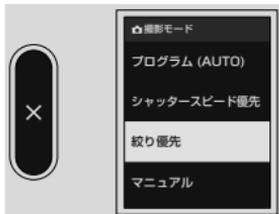
- 元の表示よりも小さく表示することはできません。
- 画像が拡大表示されているときは、ドラッグする（画面から指を離さずに動かす）と、拡大表示する位置を変更できます。
- 液晶モニターをダブルタップ（すばやく2回タップ）すると、タップした場所を一定の倍率で拡大したり、100%表示に戻したりできます。

メニュー画面でのタッチ操作

サブ液晶モニターで表示したい設定を選び
(①)、液晶モニターで設定項目をタップ
します (②)。



液晶モニターで設定値をタップすると、設定を
変更します。シャッターボタンを半押しする
と撮影画面に戻ります。サブ液晶モニターの
✕ をタップすると1つ前の画面に戻ります。



撮影の準備

3

スマートフォンにアプリケーションをインストールする

このカメラのすべての機能を使用するには、専用アプリケーションをインストールしたスマートフォンが必要です。以下のウェブサイトをご覧ください、あらかじめスマートフォンにアプリケーションをインストールすることをおすすめします。

https://fujifilm-dsc.com/app/x_half_app/



使用できるアプリケーションはスマートフォンのOSによって異なります。

ストラップを取り付ける

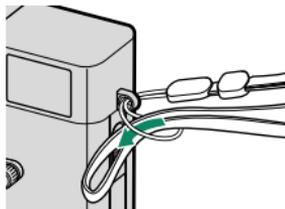
付属のハンドストラップをカメラに取り付けます。ハンドストラップのかわりに市販のショルダーストラップを取り付けることもできます。



ストラップリングやハンドストラップをカメラに取り付ける際はレンズキャップ紐をカメラから取り外してから取り付けてください。取り付け後にストラップリングや、ストラップに結んでおくことをおすすめします。

ハンドストラップの取り付け

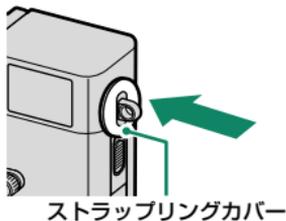
付属のハンドストラップをストラップ取り付け部に取り付けます。



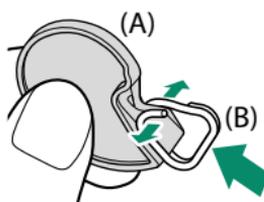
ショルダーストラップの取り付け

市販のショルダーストラップを取り付けるときは、カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

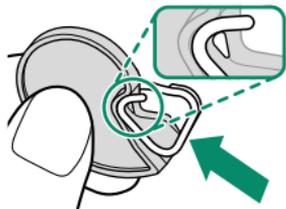
- 1 ストラップリングカバーのグレーの面をカメラに向け、カメラに取り付けます。



- 2 ストラップリング取り付け補助具 (A) を使ってストラップリング (B) の切りこみを広げます。



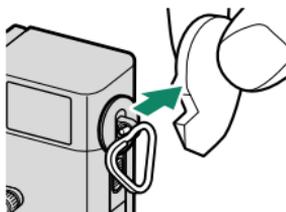
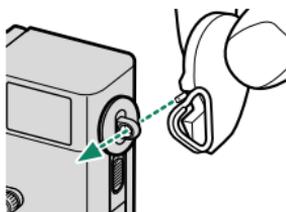
- 3 ストラップリングがストラップリング取り付け補助具の形状に収まる（突起に引っ掛かる）までしっかり押し込みます。



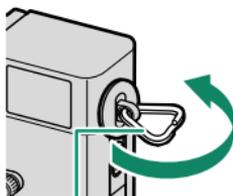
- 4** ストラップリングの切りこみをストラップ取り付け部に引っ掛けて、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

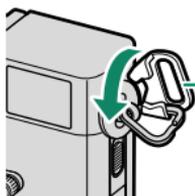


- 5** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



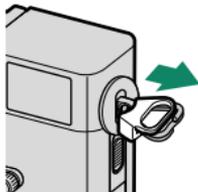
ストラップリング

- 6** プロテクターのツメの片方をストラップリングに引っ掛け、カメラ側に寄せたまま図のようにストラップリングにかぶせます。

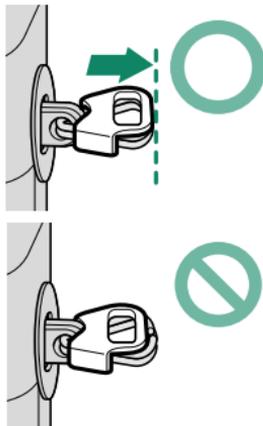


プロテクター

7 プロテクターを矢印の方向に引きます。



プロテクターの端とストラップリングの端が図のようにそろっていることを確認してください。



8 ストラップをストラップリングに通して取り付けます。

! ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

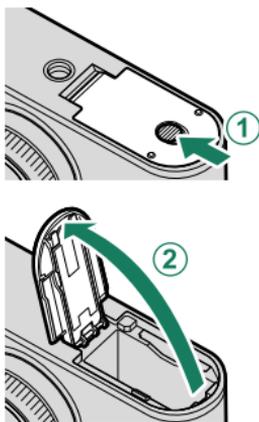
反対側も同様の手順を繰り返して取り付けます。

バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

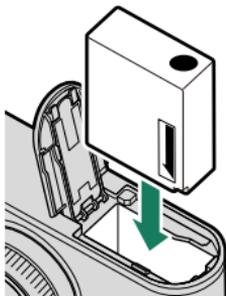
- 1** バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

- !**
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
 - バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

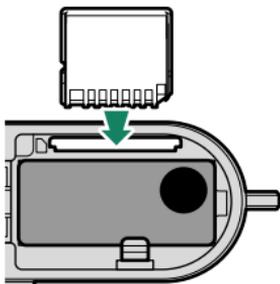


- 2** バッテリーを図のように入れます。

- !**
- バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
 - バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

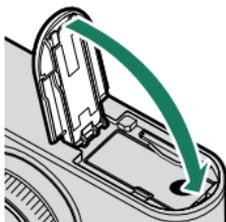


- 3** メモリーカードを入れます。



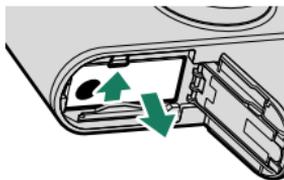
4 バッテリーカバーを閉め、バッテリー
カバーロックをスライドさせます。

! バッテリーカバーが閉まらないときは、
無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を
確認してください。



バッテリーを取り出すときは

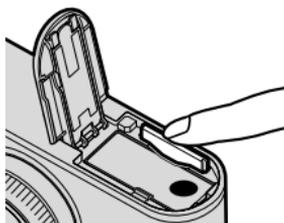
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



! 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を離すと、ロックが外れて取り出せます。



- !**
- メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押ししてください。
 - メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。
 - 画面に **!** が表示されたときは、メモリーカードが熱くなっていることがあります。しばらくたってからメモリーカードを取り出してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。
- このカメラでは、UHS-I のメモリーカードに対応しています。
- 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 またはビデオスピードクラス V30 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> を参照してください。



- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードにデータを記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、初回撮影時に画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パーソナルコンピューターやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

バッテリーを充電する

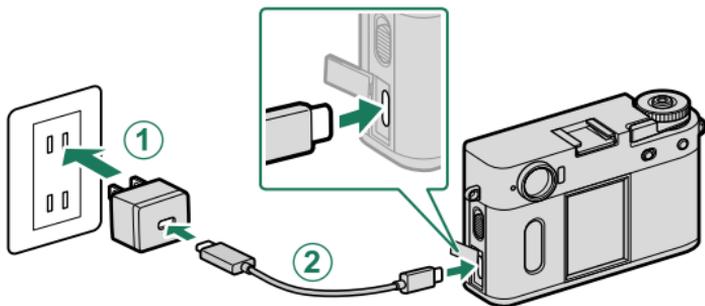
ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。



- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W126S です。
- 本製品に AC アダプターおよび USB ケーブルは付属していません。カメラ本体で充電する場合は、USB-IF 認証取得の AC アダプター / USB-C to USB-C ケーブルをご使用ください。
- 推奨する定格 7.5W 以上の AC アダプターでの充電時間は約 135 分です (☞ 154)。

バッテリーを充電します。

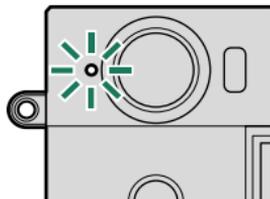
AC アダプターを屋内の電源コンセントに差し込んでから (①)、カメラと AC アダプターを USB ケーブルで接続します (②)。



- カメラの USB 端子 (Type-C) に USB ケーブルを接続します。
- USB ケーブルは端子の奥までしっかりと差し込んでください。

充電状態の表示

インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。



インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	充電異常



- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。
- ネットワーク/USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** のときはバッテリーの持続時間が短くなります。

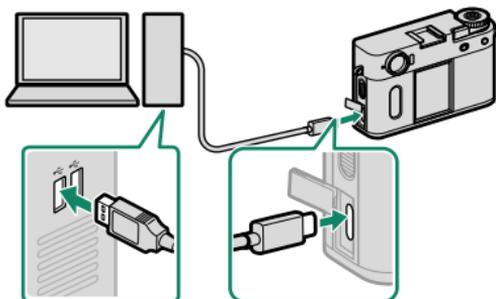


- 充電中にカメラの電源をオンにすると充電は中断され、給電になります。給電中はバッテリーが少しずつ消費されます（102）。
- 画面に給電状態アイコンが表示されます。



パーソナルコンピューターに接続してバッテリーを充電する

このカメラは、USB 充電に対応しています。パーソナルコンピューターメーカーが動作保証する OS および USB インターフェイスで使用できます。

**USB 端子 (Type-C)**

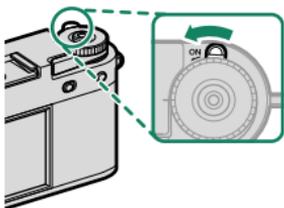
充電するときは、パーソナルコンピューターの電源をオンにしてください。

- ❗ カメラの電源がオンのときは充電できません。
- 市販の USB ケーブルを接続します。
- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパーソナルコンピューターを接続してください。
- 充電中にパーソナルコンピューターが休止状態 (スリープ状態) になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パーソナルコンピューターの休止状態 (スリープ状態) を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パーソナルコンピューターの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 充電時間の目安は約 350 分です (入力 5V/500mA の場合)。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

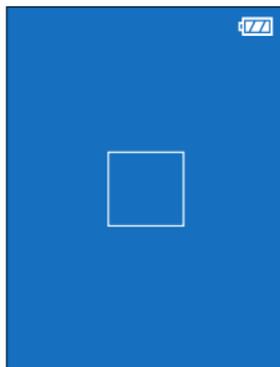


- 撮影中に **PLAY** ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを全押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



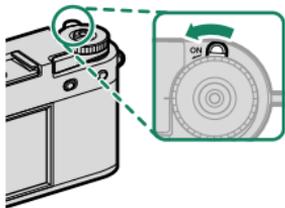
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 2/3 です。
	バッテリーの残量は約 1/3 です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。以下の手順で初期設定を行ってください。

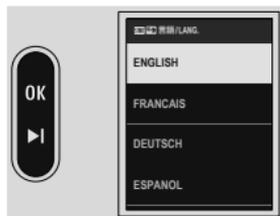
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

使用する言語を選び、**OK** をタップします。



3 地域の設定画面が表示されます。

お住まいの地域とサマータイムの設定をしてから **OK** をタップします。



 地域を設定しないときは **▶** をタップして設定をスキップしてください。

4 日時を設定します。

日時を設定して **OK** をタップすると、次の画面に進みます。

**5** スマートフォンアプリケーションに関する画面が表示されます。

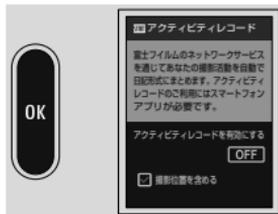
- 画面に表示されるQRコードをスマートフォンで読み取ると、スマートフォンアプリケーションをダウンロードできます。
- OK** をタップすると、次の画面に進みます。



 スマートフォンアプリケーションを使用すると、撮影画像の転送をワイヤレスで行うことができます (図 89)。

6 アクティビティレコードの設定画面が表示されます。

- ON** にすると撮影活動を記録できます。
- 撮影時の位置情報を記録することもできます。
- OK** をタップすると、次の画面に進みます。



7 自動電源 OFF 温度の設定画面が表示されます。

- カメラの温度が上昇したときに自動で電源をオフにする温度を設定できます。
- **OK** をタップすると、次の画面に進みます。



8 カメラの操作に関する説明の画面が表示されます。

撮影画面が表示されるまで **OK** をタップします。

9 メモリーカードをフォーマット（初期化）します（📖 124）。

! 未使用のメモリーカードや、パーソナルコンピューターやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。

🔧 バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 >  言語/LANG. を選びます。

2 言語を設定します。

使用する言語を選びます。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 日時設定を選びます。

2 日時を設定します。

表示する順序（年、月、日）と日付、時刻をそれぞれ設定します。

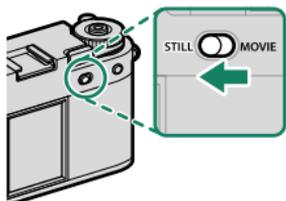
4

撮影に関する設定

静止画を撮影する

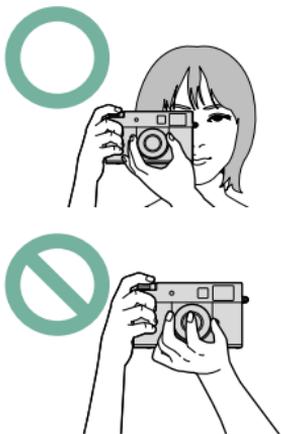
ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に設定します。



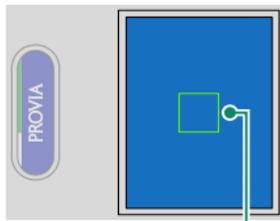
- 2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



- 3 構図を決めます。

- 4** シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



フォーカスフレーム

- ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色に点灯します。
- ピントが合わないときは、フォーカスフレームが赤色に点灯し、**!AF**が表示されます。



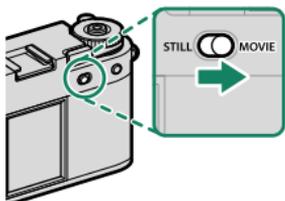
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- 撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。
- シャッターボタンのネジ穴にリリースボタンのアクセサリなどが装着できますがメカニカルリリースには対応していません。

- 5** シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

動画を撮影する

ここでは、動画撮影の基本的な流れを説明します。

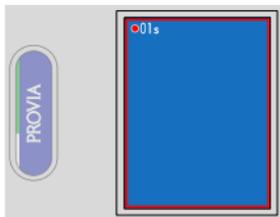
- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **MOVIE** に設定します。



- 2 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 動画撮影中は画面の外周が赤色で、スロー動画撮影中は緑色で表示されます。
- 撮影時間（カウントアップ）が表示されます。



- 3 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



- 以下の点に気を付けることで、より長く撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る
- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。**動画設定 > タリールンプ**で、点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は±2の範囲となります。
- **動画設定 > REC 枠表示**を **OFF** に設定すると画面の外周の色表示をオフにできます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
 - 感度の変更
 - シャッタースピードの変更
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- **動画設定**でファイル形式やビットレートを変更できます (108)。
- マイクレベルの表示をするには、セットアップメニューの **表示設定 > マイクレベル表示**を **ON** にしてください。

温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください。

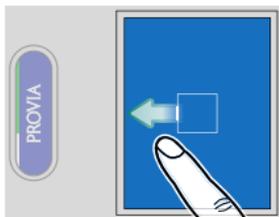
背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

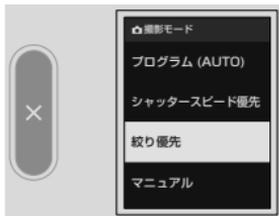
撮影モードを変更する

撮影モードを選んで、シャッタースピードや絞り値をカメラが自動的に設定したり、撮影者が意図的に設定したりできます。

- 1 撮影画面で液晶モニターを左にスワイプします。
メニュー画面が表示されます。



- 2 撮影設定 > 撮影モードまたは 動画設定 > 撮影モードで撮影モードを選びます。
シャッターボタンを半押しすると撮影画面に戻ります。



選べる撮影モードは次のとおりです。

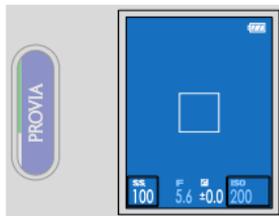
撮影モード	説明
P プログラム (AUTO)	シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。
S シャッタースピード優先	設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。
A 絞り優先	設定した絞り値に合わせて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。
M マニュアル	シャッタースピードと絞り値の両方を設定できます。



絞りリングを **A** に合わせているときは、撮影モードにかかわらず絞り値が自動で設定されます。

3 撮影します。

- シャッタースピードを設定するときは液晶モニターのリシャッタースピードをタップします (13)。
- 絞り値は絞りリングで設定します。



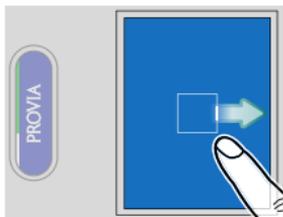
! 撮影モードが **M** 以外のときに撮影する画像が適正な明るさにならないときは、撮影モードに応じてシャッタースピードや絞り値が赤色で表示されます。

- 📷**
- 撮影モードが **S** のときにシャッタースピードを 1 秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。撮影を途中で終了したいときは **PLAY** ボタンを押してください。
 - 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**📷 画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
 - 長時間露光撮影中にカメラが動くとピントがずれるので、三脚のご使用をおすすめします。

フィルムシミュレーションとフィルター

フィルムを再現した画像を撮影したり、フィルター効果を加えた画像を撮影したりできます。

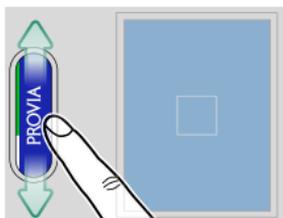
- 1 撮影画面で液晶モニターを右にスワイプします。
メニュー画面が表示されます。



- 2 フィルムシミュレーションまたはフィルターをタップします。
撮影画面に戻ります。



- 3 サブ液晶モニターで使用したいフィルムシミュレーションやフィルターを選びます。



フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
 Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
 ASTIA/ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
 クラシッククローム	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
 REALA ACE	標準的な発色とメリハリのある階調であらゆるシーンに適します。
 クラシックネガ	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 ノスタルジックネガ	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気表現します。
 ETERNA/シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。

設定	説明
 ACROS	<p>質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none">  ACROS + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。  ACROS + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。  ACROS + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 セピア	<p>セピア調で表現します。</p>



フィルムシミュレーションについては、以下のウェブサイトも併せてご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/products/film-simulation/>

フィルター

さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

-  ライトリーク
-  ハレーション*
-  期限切れフィルム
-  トイカメラ
-  ミニチュア*
-  ポップカラー
-  ハイキー
-  ローキー
-  ダイナミックトーン*
-  ソフトフォーカス*
-  パートカラー (レッド)
-  パートカラー (オレンジ)
-  パートカラー (イエロー)
-  パートカラー (グリーン)
-  パートカラー (ブルー)
-  パートカラー (パープル)
-  キャンバス
-  レトロ
-  ビネット
-  ぼかし*
-  魚眼
-  色ずれ*
-  ミラー*
-  二重露光*

* 静止画撮影時のみ



被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色味にならなかったりする場合があります。

2in1 撮影

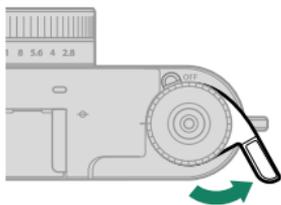
2つの静止画や動画を組み合わせた1つの静止画または動画を作成します。

1 1つ目の静止画または動画を撮影します。

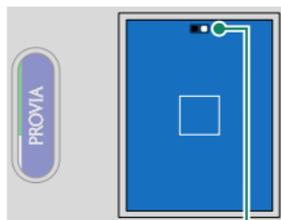


- 撮影後にフレーム切り替えレバーを押し込むと、撮影した画像を確認できます。
- 静止画や動画を撮影するかわりに、再生画面で表示している静止画や動画を使用することもできます。
- 別のカメラで撮影したり、パーソナルコンピュータで保存したりした静止画や動画では2in1撮影はできません。

2 フレーム切り替えレバーを引きます。



画面に2in1ガイドが表示され、インジケータランプが点灯します。



2in1ガイド

3 2つ目の静止画または動画を撮影します。

4 2in1 画像が保存されます。

撮影した静止画や動画もそれぞれ保存されます。



- 静止画同士を組み合わせる場合、2つ目の画像サイズは1つ目と同じ画像サイズになります。
- 静止画と動画を組み合わせる場合、2in1 画像の画像サイズは 1440 × 1080 になります。
- 動画同士を組み合わせる場合、2つ目の動画のスロー動画の設定やビットレートは1つ目の動画と同じになります。また記録時間は1つ目の動画の記録時間と同じ長さになります。記録時間が経過するまで撮影は継続されます。

フィルムカメラモード

フィルムカメラのような撮影体験ができます。あらかじめ設定した撮影枚数をすべて撮影すると、撮影した一連の画像が1つのパトローネ（フィルム）としてメモリーカードに保存されます。

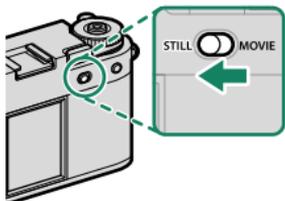


パトローネに保存された画像を再生するときはスマートフォンアプリケーションが必要です。

フィルムカメラモードで撮影する

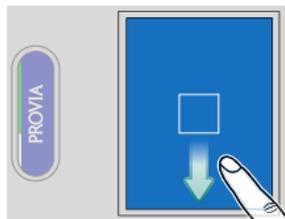
撮影の設定をしてフィルムカメラモードで撮影を行います。

- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に設定します。



- 2 フィルムカメラモードで使いたいフィルムシミュレーションまたはフィルターを選びます (p.50)。

- 3 撮影画面で液晶モニターを下にスワイプします。



4 フィルムカメラモードをタップします。



5 撮影に関する注意画面が表示されます。

OK をタップすると、次の画面に進みます。



6 パトローネの撮影枚数や日付入り撮影、撮影モードの設定をします。

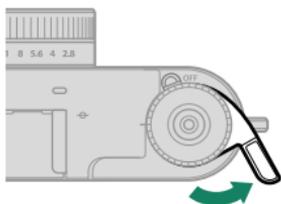
設定が終わったら**始める**をタップします。
初めてフィルムカメラモードを使用するときは機能の紹介画面が表示されます。
OK をタップすると、次の画面に進みます。



7 シャッターボタンを押して 1 枚目の画像を撮影します。

8 フレーム切り替えレバーを引きます。

レバー状況アイコンが点灯して、次の画像が撮影できるようになります (60)。



9 シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。

 フレーム切り替えレバーを引かずにシャッターボタンを押すと、レバー状況アイコンとインジケータランプが点滅し、撮影できません。フレーム切り替えレバーを引いてから再度撮影してください。

10 手順 8 と手順 9 を繰り返して撮影をします。

設定した枚数を撮影するとフィルムカメラモードが終了します。撮影した画像はパトローネとしてメモリーカードに保存されます。



- フィルムカメラモード中にサブ液晶モニターをダブルタップするとフィルムカメラモードを終了できます。終了するとそれまで使用していたパトローネで撮影を再開することはできません。
- **AFモード**は自動的に**シングルポイント**に変更されます。
- 次のときはフィルムカメラモードに切り替わりません。
 - 静止画 / 動画切替スイッチが **MOVIE** のとき
 - カメラにメモリーカードが入っていないとき
 - メモリーカードの空き容量が不足しているとき
 - フィルターで**二重露光**を選んでいるとき

撮影したパトローネを確認する

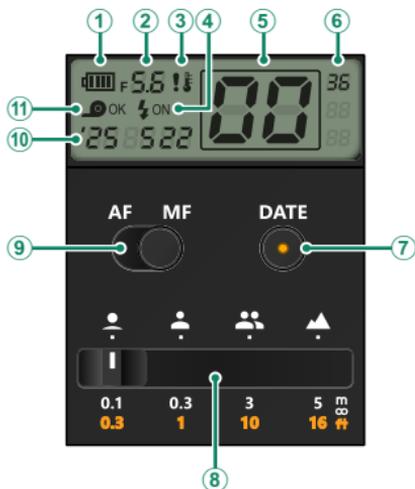
再生画面でメニューを表示し、 ↔ をタップして設定を切り替えてからサブ液晶モニターの をタップすると、メモリーカードに保存されているパトローネの種類を確認できます。



再生メニューでパトローネの消去やプロテクトができます。

フィルムカメラモードの表示画面

フィルムカメラモードのときは次の画面が液晶モニターに表示されます。



項目	説明
① 電池残量	カメラのバッテリーの残量が表示されます。
② 絞り値	絞り値が表示されます。
③ 温度警告	カメラの温度が上昇したときに表示されます。
④ フラッシュ	フラッシュが発光するかどうかが表示されます。
⑤ 撮影枚数	撮影した枚数が表示されます。
⑥ パトローネの枚数	設定したパトローネの撮影枚数が表示されます。
⑦ 日付入り撮影切替ボタン	タップするとランプが点灯し、撮影した画像の右下に日付が記録されます。

項目	説明
⑧ 簡易 MF 距離指標	マニュアルフォーカス撮影のときにピントが合う距離の変更ができます。
⑨ AF/MF 切替スイッチ	オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り替えることができます。
⑩ 日付	日付が表示されます。
⑪ レバー状況	フレーム切り替えレバーが引かれているかどうかが表示されます。 OK が表示されているときにシャッターボタンを押すと撮影ができます。

マニュアルフォーカス撮影

フォーカスリングを回してピントが合う距離を変更できます。

簡易 MF 距離指標

簡易 MF 距離指標をタップして、ピントが合うおおまかな距離を 4 段階で変更することもできます。



ピントが合う距離の目安は次のとおりです。

アイコン	説明
花 (最短)	花や人物の顔などを撮影するときの距離です。
ポートレート	ポートレート撮影をするときの距離です。
複数人	複数の人物を撮影するときの距離です。
風景 (無限遠)	風景写真や、遠くの被写体を撮影するときの距離です。

オートフォーカス撮影

ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで  フォーカス設定を選びます。
- 2 フォーカスモードを選び、シングル AF またはコンティニユアス AF を選びます (📖 63)。
- 3 AF モードを選びます (📖 64)。
- 4 撮影します。

フォーカスモード

ピント合わせの方法を変更できます。

フォーカスモードの設定方法

- 1 液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで  フォーカス設定を選びます。
- 2 液晶モニターでフォーカスモードを選びます。
- 3 設定するフォーカスモードを選びます。

フォーカスモードの種類

フォーカスモード	内容
 マニュアルフォーカス	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (66)。
 コンティニュアス AF	コンティニュアス AF で撮影します。カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
 シングル AF	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。

AF モードの選択

ピントを合わせるエリアの設定を変更できます。

AF モードの設定方法

- 1 液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで  フォーカス設定を選びます。
- 2 液晶モニターで AF モードを選びます。
- 3 設定する AF モードを選びます。

AF モードの種類

静止画撮影時

AF モード	内容
シングルポイント	画面の中央にピントを合わせます。
エリア選択	9つのフォーカスエリアのうち、選んだ1つのフォーカスエリアにピントを合わせます。液晶モニターをタップしてフォーカスエリアを選べます (📖 12)。

動画撮影時

AF モード	内容
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
エリア選択	9つのフォーカスエリアのうち、選んだ1つのフォーカスエリアにピントを合わせます。液晶モニターをタップしてフォーカスエリアを選べます (📖 12)。

オートフォーカスの苦手な被写体について

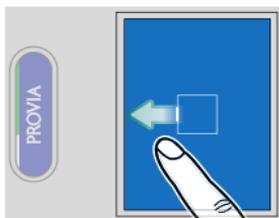
このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

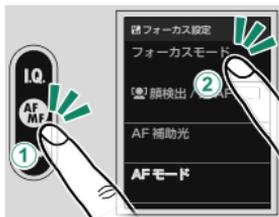
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 液晶モニターを左にスワイプします。
メニュー画面が表示されます。



- 2 サブ液晶モニターで **MF** フォーカス設定をタップし (①)、フォーカスモードをタップします (②)。

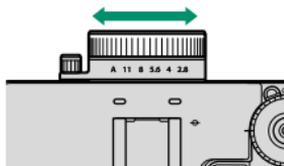


- 3 マニュアルフォーカスをタップします。



4 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



5 撮影します。

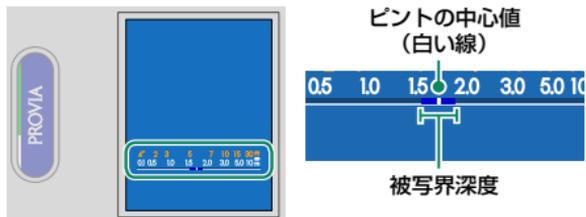
 フォーカスリングを回す方向は、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリング操作**で設定できます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

フォーカスリングを操作すると距離指標が表示されます。白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。



画面に表示された画像で確認する

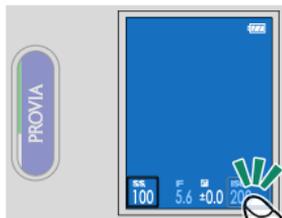
コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。☑ **フォーカス設定 > MFアシスト**で強調するときの色を選べます。



ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

画面の ISO 感度をタップすると ISO 感度を設定できます。200 ~ 12800 の ISO 感度、またはオートを選べます。



オートを選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが自動的に ISO 感度を設定します。設定する ISO 感度の範囲は次の通りです。

静止画撮影時

設定	設定する ISO 感度の範囲
AUTO1	200 ~ 800
AUTO2	200 ~ 3200
AUTO3	200 ~ 12800

動画撮影時

設定	設定する ISO 感度の範囲
AUTO	200 ~ 12800



ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

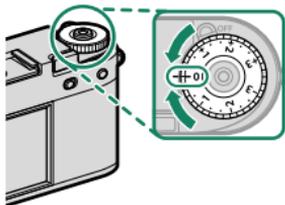
ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

露出補正

画像の明るさを調整できます。

露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。



- モードによって補正段数が制限されることがあります。
- 露出補正の結果は撮影画面に反映されます。

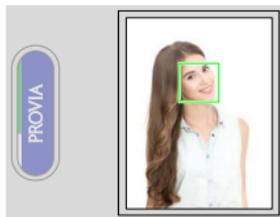
AE/AF ロック撮影

フォーカスモードが**シングル AF** または**マニュアルフォーカス** のとき、シャッターボタンを半押しすると、明るさとピントが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出とピントが合い、AF フレームが緑点灯します。



3そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

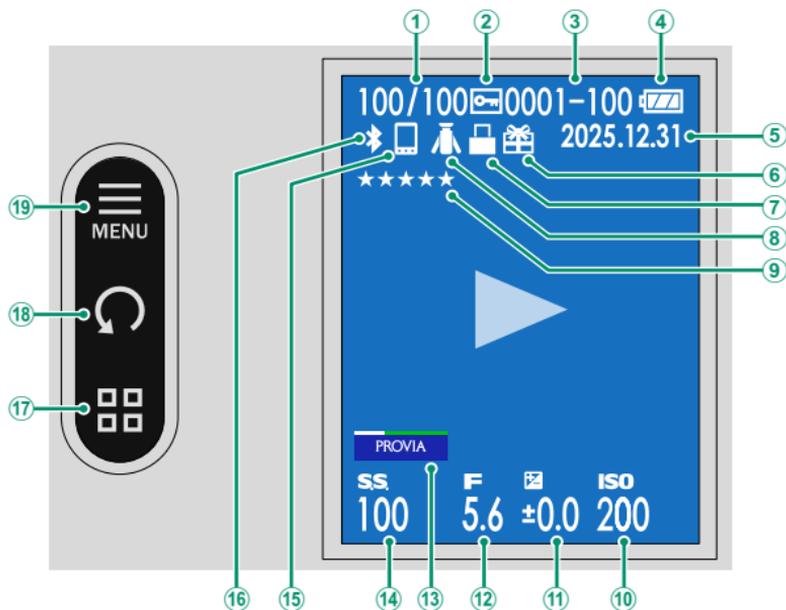
画像の再生と再生メニュー

5

再生時の表示画面

再生時は、画面（LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



- | | |
|---|---|
| ① コマ数表示 | ⑪ 露出補正70 |
| ② プロテクト.....82 | ⑫ 絞り値 4、 48 |
| ③ コマ NO. 143 | ⑬ フィルムシミュレーション/
フィルター 15、 50 |
| ④ バッテリー残量表示37 | ⑭ シャッタースピード 13、 48 |
| ⑤ 日付・時刻..... 38、 41、 125 | ⑮ Bluetooth 接続先
(スマートフォン/タブレット)
.....89 |
| ⑥ プレゼント.....76 | ⑯ Bluetooth ON/OFF |
| ⑦ Bluetooth 接続先
(instax プリンター)86 | ⑰ 1 コマ再生 /9 コマ再生 17 |
| ⑧ Bluetooth 接続先
(三脚グリップ) | ⑱ 回転表示 17 |
| ⑨ レーティング83 | ⑲ 再生メニュー 17、 79 |
| ⑩ ISO 感度69 | |

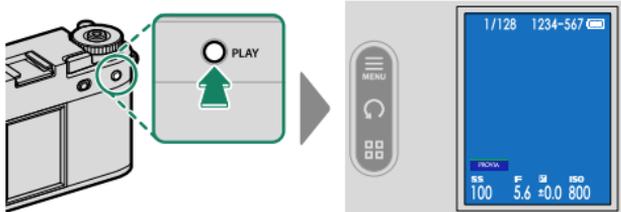
画像の再生と消去

PLAY ボタンを押すと撮影した静止画や動画を再生できます。画像を選んで消去することもできます。

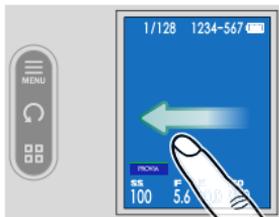
画像を再生する

撮影した画像を再生します。

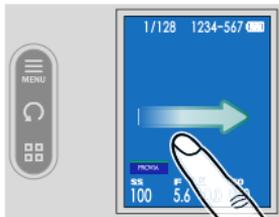
PLAY ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



- 1つ前の画像を見るには画面を左にスワイプします。



- 次の画像を見るには右にスワイプします。



 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりするときがあります。

動画を再生する

動画が表示されているときに画面をタップすると動画を再生できます。もう一度タップすると一時停止ができます。



動画の再生中や一時停止中にサブ液晶モニターのボタンをタップすると操作が行えます。

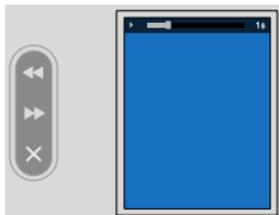
再生中

ボタン	意味
早送り	タップすると早送りまたは早戻しを行います。繰り返しタップすると、3段階で速度が変わります。
早戻し	
戻る	動画の再生を終了します。

一時停止中

ボタン	意味
コマ送り	タップするとコマ送りを行います。
コマ戻し	
戻る	動画の再生を終了します。

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



! スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。

- 📏** 動画の再生音量は **🔊 音設定 > 再生音量** で設定します。
- ヘッドホンなどで音を聞く場合は USB 端子を使用します。付属のヘッドホン用アダプターで USB 端子から変換する必要があります。

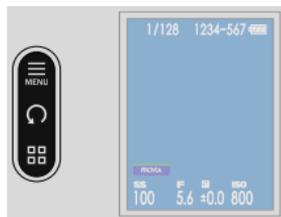
画像を消去する

再生メニューから画像を消去できます (📖 79)。

再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面でサブ液晶モニターの再生メニューアイコンをタップします。



消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。



誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパーソナルコンピューターにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

- 1 消去メニューから1コマを選びます。
- 2 画面を左右にスワイプして消去する画像を表示してから**実行**をタップすると、表示されている画像が消去されます。



- **実行**をタップすると同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようご注意ください。
- **実行**を繰り返しタップすると画像が連続して消去されます。消去する画像を選んでから**実行**をタップしてください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから**複数指定**を選びます。
- 2 消去する画像をタップすると**選択**されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度タップします。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**実行**をタップします。消去実行画面が表示されます。
- 4 **実行**をタップすると**複数指定消去**が実行されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行をタップすると全コマ消去が実行されます。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニューのプロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 サブ液晶モニターの  をタップして、プロテクトを設定 / 解除します。

4  をタップしてプロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

- 1 再生メニューのレーティングを選びます。
- 2 画面を左右にスワイプしてランク付けをしたい画像を選び、★をタップして★の数（0～5）を設定します。



以下の画像はレーティングを設定できません。

- プロテクトされている画像
- 動画
- プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）

フィルタリング

表示する画像の絞り込みができます。

設定	説明
全て	すべての画像を表示します。
シングルのみ	2in1 撮影で撮影された画像以外を表示します。
2in1 のみ	2in1 撮影で撮影された画像を表示します。

1:1 フレーム合成

背景色が付いたアスペクト比が 1:1 の画像を作成できます。背景色を選んでサブ液晶モニターの **OK** をタップします。



作成した 1:1 画像にもう一度背景色を付けることはできません。

スライドショー動画作成

複数の静止画が横方向に流れる動画を作成できます。

1 再生メニューのスライドショー動画作成を選びます。

2 動画の速度を設定します。



動画の長さは最大 60 秒です。

3 3 枚以上の画像を選んで **OK** をタップします。

4 分割線の設定をします (📖 130)。

5 動画の流れる方向を選び、**OK** をタップします。

スライドショー動画が作成されます。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax Link」シリーズで画像をプリントできます (📖 95)。

instax 画質モード

別売の「FUJIFILM instax Link」シリーズで画像を印刷するときの画質を設定できます (📖 102)。



撮影した画像の再生画面と、フィルムカメラモードで撮影したパトローネの確認画面を切り替えることができます。

ネットワーク /USB 機能と 設定メニュー

6

ネットワーク /USB 機能の概要

このカメラはパーソナルコンピューターやスマートフォンと接続して、撮影した画像を転送できます。

このカメラでできること

このカメラでできることは次の通りです。

ネットワーク /USB 機能	内容	📖
スマートフォン アプリケーション と接続	スマートフォンと Bluetooth® で接続して、 撮影した画像を転送できます。	89
USB カードリーダー	パーソナルコンピューターと USB ケーブルで 接続して、メモリーカード内の画像を転送でき ます。	92
instax プリント	instax プリンターと接続して、撮影した画像 をプリントできます。	95

スマートフォンアプリケーション を使用する

このカメラのすべての機能を使用するには、専用アプリケーションをインストールしたスマートフォンが必要です。あらかじめスマートフォンにアプリケーションをインストールすることをおすすめします。



撮影画像の転送時は Bluetooth で接続しているスマートフォンのスマートフォンアプリケーションからカメラとスマートフォンを無線 LAN で接続する必要があります。

スマートフォンにアプリケーションをインストールする

以下のウェブサイトをご覧ください、スマートフォンにアプリケーションをインストールしてください。

https://fujifilm-dsc.com/app/x_half_app/



使用できるアプリケーションはスマートフォンの OS によって異なります。

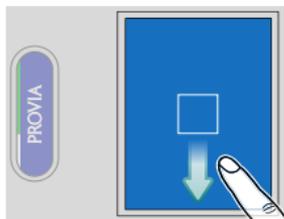
カメラとスマートフォンを接続する

カメラとスマートフォンを Bluetooth® で接続します。

 あらかじめ **Bluetooth/スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** を **ON** にしてください。

1 撮影画面で液晶モニターを下にスワイプします。

ペアリングの画面が表示されます。

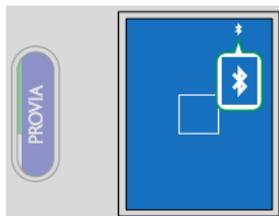


2 ペアリングをタップします。



3 スマートフォンのアプリケーションを起動し、カメラとペアリングします。

ペアリングをすると、自動的にカメラとスマートフォンが Bluetooth で接続されます。カメラとスマートフォンが接続されると、カメラの表示画面の Bluetooth アイコンがグレーから白に変わります。



- 一度ペアリングを行うと、スマートフォンアプリケーションを起動するたびに自動的にカメラと接続します。
- スマートフォンと接続しないときは Bluetooth をオフにするとカメラの消費電力を抑えることができます。

スマートフォンアプリケーションを使用する

カメラと Bluetooth で接続しているスマートフォンを使用して、次のことができます。あらかじめスマートフォンアプリケーションで、カメラとスマートフォンを無線 LAN で接続してください。

スマートフォンアプリケーションで選んで画像を転送する

スマートフォンアプリケーションで転送する画像を選んで、スマートフォンに画像を転送することができます。

フィルム現像をする

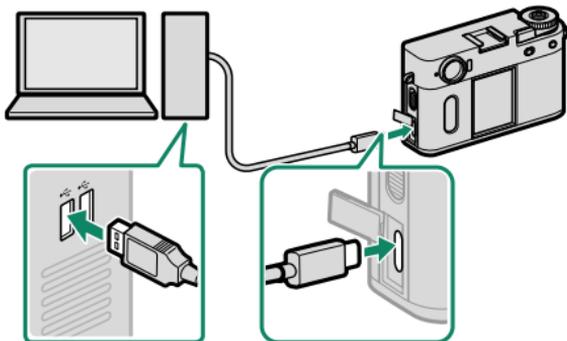
フィルムカメラモードで撮影したパトローネを現像して画像を確認できます。

USB カードリーダーとして使用する

カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続すると、撮影画像を転送できます。

パーソナルコンピューターに画像を転送する

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの USB 給電 / 通信設定を自動または給電 OFF / 通信 ON にします。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 パーソナルコンピューターを起動します。
- 4 USB ケーブルで、カメラとパーソナルコンピューターを接続します。



USB 端子 (Type-C)



USB ケーブルは、長さが 1m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

5 カメラの電源をオンにします。

6 画像を転送します。

- **Mac OS X / OS X / macOS の場合**：OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。ファイルサイズが4GBを超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。
- **Windows の場合**：OS 標準アプリケーションなどで画像や動画を取り込んでください。



- USBケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- USBケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USBハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパーソナルコンピュータを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパーソナルコンピュータの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパーソナルコンピュータの通信時には、USBケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパーソナルコンピュータの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパーソナルコンピュータのようにご利用になれないことがあります。
- パーソナルコンピュータでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パーソナルコンピュータの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

instax プリントする

別売の「FUJIFILM instax Link」シリーズで画像をプリントできます。

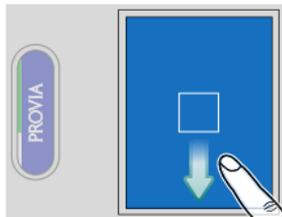
- ❗ instax mini Link と接続する場合、instax mini Link のファームウェアのバージョンが「0104」以上になっていることを確認してください。バージョンの確認やバージョンアップは instax mini Link アプリで行えます。詳細は以下のサイトの「Q. 本体を最新のファームウェアに更新したい。」をご覧ください。

https://instax.jp/mini_link/support/faq/

プリンターとの接続を設定する

- 1 撮影画面で液晶モニターを下にスワイプします。

ペアリングの画面が表示されます。

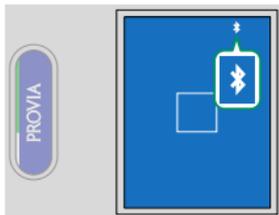


- 2 ペアリングをタップします。



3 プリンターを起動し、カメラとペアリングします。

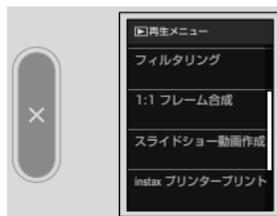
ペアリングをすると、自動的にカメラとプリンターが Bluetooth で接続されます。カメラとプリンターが接続されると、カメラの表示画面の Bluetooth アイコンがグレーから白に変わります。



- 一度ペアリングを行うと、プリンターを起動するたびに自動的にカメラと接続します。
- プリンターと接続しないときは Bluetooth をオフにするとカメラの消費電力を抑えることができます。
- プリンターとの接続が不安定な場合は、**Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth 機器一覧**でプリンターとのペアリングを削除して、再度ペアリングをしてください。

画像をプリントする

- 1 プリンターの電源を入れます。
- 2 再生メニューの instax プリンタープリントを選びます。



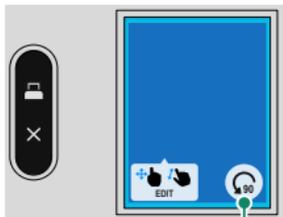
- 3 プリントしたい画像を選び、OK を押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像の編集をします。

- 液晶モニター上でピンチインやピンチアウトをすると、画像を縮小したり、拡大したりできます。
- 回転ボタンをタップするか、2本の指で画像を回転させると、画像を90°ごとに回転できます。
-  をタップすると次に進みます。



回転ボタン



- 印刷される範囲が青枠で表示されます。また、印刷される範囲はプリンターによって異なります。
- 画像を画面よりも小さくして印刷することはできません。画面に余白ができた場合は、画像が自動的に拡大されます。

5 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

ネットワーク /USB 設定

カメラのネットワーク /USB 機能の設定を変更できます。

撮影画面でサブ液晶モニターの  (ネットワーク /USB 設定) をタップします。



Bluetooth/ スマートフォン設定

Bluetooth 接続に関する設定や、スマートフォンに関するさまざまな設定ができます。



スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

ペアリング登録

スマートフォンアプリケーションがインストールされているスマートフォンとペアリング登録します。

Bluetooth 機器一覧

ペアリング登録されている機器のうち、スマートフォン以外の機器の一覧を確認したり、ペアリングを削除したりできます。

Bluetooth ON/OFF

ON にすると、ペアリング登録したスマートフォンでスマートフォンアプリケーションが起動したときに、カメラが自動的にスマートフォンと接続します。

設定値	
ON	OFF

スマートフォン位置情報同期

ON にすると、ペアリング登録されているスマートフォンと位置情報を同期します。

設定値	
ON	OFF

 スマートフォンアプリケーションが起動している必要があります。なお、スマートフォンアプリケーションが起動していても、途中でペアリングが切断された場合は、同期も中断されます。最後に位置情報を取得してから 30 分以上更新がないと、カメラの位置情報取得マークが赤い表示に変わります。

無線通信周波数設定

無線 LAN 通信を行うときの無線 LAN の周波数を設定します。

設定値	
2.4GHz (IEEE802.11 b/g/n)	5GHz (IEEE802.11 a/n/ac)



- 5GHz の一部のチャンネルについて、屋外での使用が禁止されている国・地域があります。ご使用になる前に 5.2GHz 帯 (W52) が使用可能かご確認ください。
- 購入した国・地域によって選べる設定値は異なります。

名前

無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を確認できます。

機内モード

ON にすると無線 LAN や Bluetooth をオフにできます。

設定値	
ON	OFF

instax 画質モード

別売の「FUJIFILM instax Link」シリーズで画像を印刷するときの画質を設定できます。

設定	説明
instax-Rich モード	色彩表現が豊かな画質で印刷します。
instax-Natural モード	従来の画質で印刷します。



カメラがプリンターと接続しているときでも設定できます。

USB 給電 / 通信設定

パーソナルコンピューターやスマートフォンなどの機器と USB ケーブルで接続したときにカメラに給電するか、カメラと通信するかを設定します。

設定	説明
自動	接続した機器からカメラに給電するか、接続した機器と通信するかを自動的に切り替えます。
給電 ON/ 通信 OFF	接続した機器から給電します。カメラのバッテリーの消費を抑えることができます。接続した機器との通信はできません。
給電 OFF/ 通信 ON	カメラに給電せず、接続した機器と通信を行います。



給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器からは給電できません。これらの機器と接続するときはあらかじめ**給電 OFF/ 通信 ON** に設定してください。**給電 ON/ 通信 OFF** のまま接続すると、データの転送などができない場合があります。



カメラの電源がオフのときは、設定にかかわらずバッテリーの充電を行います。

ネットワーク /USB 設定初期化

ネットワーク /USB 設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。

撮影メニュー

7

撮影設定

撮影時の設定を設定できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで  (撮影設定) をタップします。



 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

撮影モード

静止画の撮影モードを設定できます。

設定値

プログラム
(AUTO)

シャッター
スピード優先

絞り優先

マニュアル

画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値

S 3:4 (2M)

M 3:4 (6M)

L 3:4 (18M)

📷 セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数がカウントダウン表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**PLAY** ボタンを押します。



設定	説明
🕒 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
🕒 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。



- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- **継続**を **ON** にすると、電源をオフにしてもセルフタイマーの設定が維持されます。

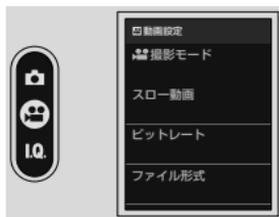


撮影画面で液晶モニターを上にはスワイプすると、撮影設定の一覧表示画面でセルフタイマーを使用しているかどうかを確認できます (📖 16)。

動画設定

動画撮影に関する設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで （動画設定）をタップします。



撮影モード

動画の撮影モードを設定できます。

設定値			
プログラム (AUTO)	シャッター スピード優先	絞り優先	マニュアル

スロー動画

スロー動画の撮影速度を設定できます。

設定値			
120% スロー	150% スロー	200% スロー	OFF

ビットレート

動画のビットレートを設定できます。

設定値		
10Mbps	20Mbps	50Mbps

ファイル形式

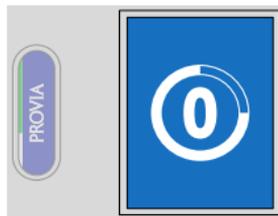
動画のファイル形式を設定できます。

設定値	
MP4	MOV

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてから録画が開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数がカウントダウン表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**PLAY** ボタンを押します。



設定値			
3 秒	5 秒	10 秒	OFF

! 継続を **ON** にすると、電源をオフにしてもセルフタイマーの設定が維持されます。

📷 撮影画面で液晶モニターを上にはスワイプすると、撮影設定の一覧表示画面でセルフタイマーを使用しているかどうかを確認できます (📖 16)。

REC 枠表示

ONにすると、動画の撮影中であることを示す赤い枠を画面に表示します。

設定値

ON

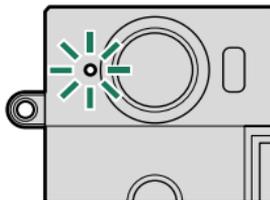
OFF



スロー動画撮影時は緑色の枠が表示されます。

タリーランプ

動画撮影中のインジケータランプの点灯または点滅の設定を変更できます。

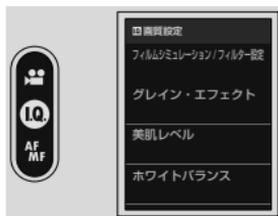


設定	説明
点灯	動画撮影中はインジケータランプが点灯します。
点滅	動画撮影中はインジケータランプが点滅します。
OFF	動画撮影中はインジケータランプは消灯します。

画質設定

画質に関する機能を設定できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで **IQ** (画質設定) をタップします。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フィルムシミュレーション/フィルター設定

フィルムシミュレーションやフィルターの設定を変更できます (📖 50)。

グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を与えます。

強度

設定	説明
強	濃い粒状を与えます。
弱	薄い粒状を与えます。
OFF	使用しません。

粒度

設定	説明
大	粒の粗い質感を与えます。
小	粒の細かい質感を与えます。

美肌レベル

美肌効果のレベルを変更できます。

設定値			
WEAK	MEDIUM	STRONG	OFF

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
 AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
 色温度設定	色温度を設定します。
 晴れ	晴天の屋外での撮影用です。
 日陰	曇天や日陰などでの撮影用です。
 蛍光灯 1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
 電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源にあったホワイトバランスを選んでください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ **水中** 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。

K 色温度を設定する

光源の色温度に合わせて設定します。



色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度が表示されます。



- 2 色温度を調整してサブ液晶モニターの **X** をタップします。

色温度が設定されます。設定した色温度が画面に表示されます。



色温度は 2500K から 10000K の間で調整できます。

色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値

ON

OFF



ON にすると、画像処理のため保存に時間がかかります。

フォーカス設定

フォーカスに関する機能を設定できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで **AF** (フォーカス設定) をタップします。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フォーカスモード

ピント合わせの方法を変更できます (📖 63)。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物の明るさが適正になるように撮影できます。左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。



設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
右目優先 顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに優先して右目にピントを合わせます。
左目優先 顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに優先して左目にピントを合わせます。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。



- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。



- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに顔を検出すると、顔の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の顔を検出した場合は、カメラが自動で顔を選択します。
- 画面をタッチすると、ピントを合わせる顔を変更できます。
- ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値

ON

OFF



- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

AF モード

ピントを合わせるエリアの設定を変更できます (64)。

MF アシスト

マニュアルフォーカス時 (フォーカスモードが **M** のとき) のピント確認方法を設定します (68)。

設定値

ホワイト

レッド

ブルー

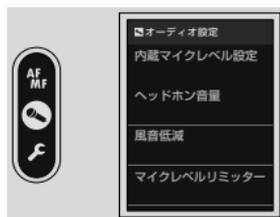
イエロー

OFF

オーディオ設定

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで （オーディオ設定）をタップします。



内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を 1 ~ 10 に設定します。

風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値	
ON	OFF

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	OFF

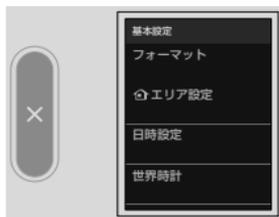
セットアップメニュー

8

セットアップメニュー（基本設定）

カメラの基本的な設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで （セットアップ）をタップし、液晶モニターで**基本設定**を選びます。



フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

1 セットアップメニューから  **基本設定** > **フォーマット**を選びます。

2 確認の画面が表示されます。



3 実行をタップするとフォーマットが実行されます。



確認画面で**やめる**をタップしたり、サブ液晶モニターの  をタップしたりしたときは、フォーマットは実行されません。



- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

🏠 エリア設定

お住まいの地域やサマータイムの設定をします。

エリア設定

世界地図からお住まいの地域を選択します。

サマータイム

サマータイムを使用するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	サマータイムを使用します。
OFF	サマータイムを使用しません。

日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから  基本設定 > 日時設定を選びます。
- 2 日時を設定します。
- 3 サブ液晶モニターの  をタップすると日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
 現地	旅行先の日時を表示します。



 現地を選ぶときは、あらかじめ  エリア設定でお住まいの地域を設定してください。

現地時間の設定方法

1  アイコンをタップします。

2 旅行先のエリアを選びます。



サマータイムを使用したいときはサマータイムを **ON** に設定してください。

3 サブ液晶モニターの  をタップします。



 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に  と日時が約3秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

ファームウェアアップデート

メモリーカードに保存したファームウェアを使用して、カメラのファームウェアの更新ができます（📖 165）。

アクティビティレコード

カメラを使用した撮影活動を自動で記録できます。富士フィルムのネットワークサービスを使用すると、日々の撮影活動を日記形式や集計情報として確認できます。



ネットワークサービスでは、日々の撮影活動を日記形式でご確認いただけるだけでなく、その編集や富士フィルムからのご案内の確認も可能です。ネットワークサービスをご利用いただくためには次の2つのアプリケーションをご利用いただく必要があります。

- スマートフォンアプリケーション（📖 89）
- FUJIFILM XApp

リセット

メニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選びます。

設定	説明
メニューリセット	撮影メニューの 撮影設定、 動画設定、 画質設定、 フォーカス設定、 オーディオ設定およびセットアップメニューの分割線設定がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの日時設定、 エリア設定、 世界時計以外がリセットされます。
初期化	全ての設定がリセットされます。

2 確認画面で実行をタップします。

サポート Web サイト

カメラのサポートページの QR コードが表示されます。お手持ちのスマートフォンなどで QR コードを読み取ることで、サポートページにアクセスできます。

認証

セットアップメニューの  **基本設定** > **認証** を選ぶと、製品型番などの認証情報が電子形式で表示されます。

シャッター回数

シャッターを切ったおおよその回数を確認できます。

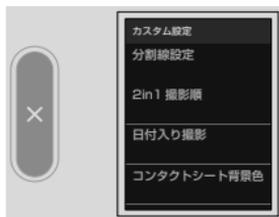


シャッター回数はシャッターボタンを押す以外にも、電源オン/オフ、再生モードへの切り替えなどでもカウントされます。

セットアップメニュー(カスタム設定)

カメラの特別な設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで  (セットアップ) をタップし、液晶モニターで**カスタム設定**を選びます。



分割線設定

2in1 撮影の分割線の見た目を設定できます。

色

線の色を選びます。

設定値	
黒	白

太さ

線の太さを選びます。

設定値		
狭い	標準	太い

種類

線の見た目を選びます。

設定値			
1	2	3	4

2in1 撮影順

2in1 撮影の 2 つの画像の並び順を変更できます。

設定値	
L → R	R → L

日付入り撮影

撮影した画像に日付を入れるかどうかを設定できます。静止画と動画でそれぞれ設定できます。

設定値	
ON	OFF



プリンターなどで画像を印刷するときは、あらかじめ**日付入り撮影**を **OFF** にして撮影するか、印刷時の日付の印字機能をオフにしてください。日付が二重に印字される場合があります。

コンタクトシート背景色

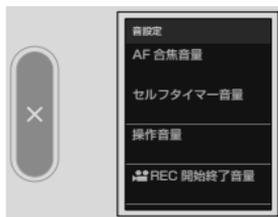
コンタクトシートの背景色を設定できます。

設定値	
黒	白

セットアップメニュー（音設定）

カメラの音に関する設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで （セットアップ）をタップし、液晶モニターで**音設定**を選びます。



AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

セルフタイマー音量

 セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

REC 開始終了音量

動画撮影を開始するときと終了するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

シャッター音量

シャッターをきるときにの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

シャッター音

シャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド1	シャッター音 1 に設定します。
♪2サウンド2	シャッター音 2 に設定します。
♪3サウンド3	シャッター音 3 に設定します。

再生音量

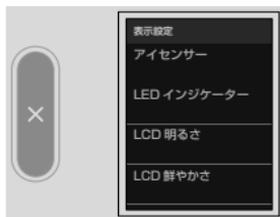
動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を 1 ~ 10 に設定します。

セットアップメニュー（表示設定）

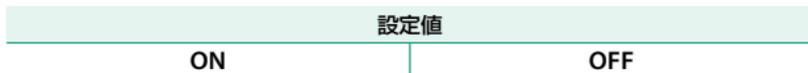
カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで （セットアップ）をタップし、液晶モニターで**表示設定**を選びます。



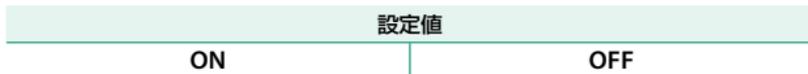
アイセンサー

アイセンサーのオンとオフを設定できます。



LED インジケーター

インジケーターランプのオンとオフを設定できます。



LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

- 1 R（赤）または B（青）を選び、色調を調整します。
- 2 サブ液晶モニターの **✕** をタップします。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または液晶モニターをタップするまで表示します。液晶モニターをダブルタップするとピント位置が拡大表示され、もう一度ダブルタップするかサブ液晶モニターの × をタップすると元に戻ります（  140）。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、表示を終了します。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。
- **アイセンサー**が **ON** のときにファインダーを覗いて撮影した場合は、確認画面は表示されません。

情報表示

撮影画面に撮影の設定などを表示させるかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

電子水準器設定

撮影時の電子水準器の表示を設定できます（ 11）。

フレーミングガイド

撮影時にフレーミングガイドを表示させるかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

マイクレベル表示

マイクレベルを表示させるかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

位置情報表示

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を表示できます。

設定値

ON

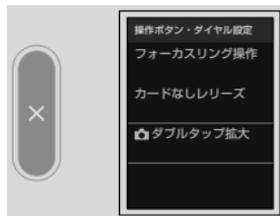
OFF

セットアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)

カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで  (セットアップ) をタップし、液晶モニターで**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



フォーカスリング操作

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
 時計回り	フォーカスリングの回転方向を  時計回りに設定します。
 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を  反時計回りに設定します。

カードなしレリーズ

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

ダブルタップ拡大

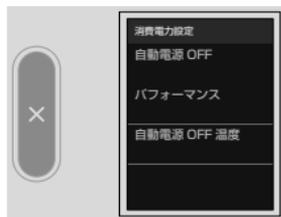
撮影画像表示が連続のとき、撮影後の確認画面をダブルタップして拡大するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	液晶モニターを2回タップすると、画像が拡大します。
OFF	タップによる画像拡大はしません。

セットアップメニュー(消費電力設定)

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで  (セットアップ) をタップし、液晶モニターで**消費電力設定**を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

設定	説明
ノーマル	カメラの AF 性能やバッテリーの持続時間を標準の性能にします。
エコノミー	カメラの AF 性能を抑えます。バッテリーの持続時間はノーマルより長くなります。

自動電源 OFF 温度

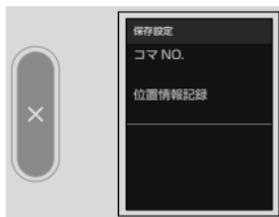
カメラの温度が上昇した際にはメッセージが表示され、さらに上昇すると、撮影を中断し電源を自動的にオフにします。その際の温度を変更できます。

設定	説明
標準	カメラの電源をオフにする温度を標準に設定します。
高	標準に比べて、カメラの温度が高くなっても撮影することができます。動画撮影時など高に設定すると、標準に比べて撮影時間が長くなります。カメラを持ち続けると低温やけどの恐れがありますので、三脚などをお使いください。

セットアップメニュー（保存設定）

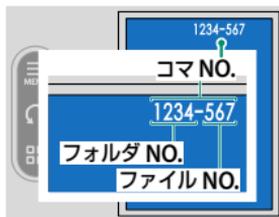
画像の保存に関する設定を変更できます。

液晶モニターを左にスワイプしてから、サブ液晶モニターで **⌘**（セットアップ）をタップし、液晶モニターで**保存設定**を選びます。



コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO.（フォルダ NO. - ファイル NO.）の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。電源をオフにしてから、フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて撮影してください。
- ⌘** **基本設定** > **リセット** を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

位置情報記録

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録することができます。

設定値	
ON	OFF

資料

9

カメラで使えるアクセサリ

このカメラでは、以下の富士フィルム製アクセサリを使用できます。最新情報やその他のアクセサリについては「対応情報」<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

バッテリーチャージャー BC-W126S：充電式バッテリー NP-W126S を充電します。充電時間は約 150分 (+20℃において)です (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。

三脚グリップ TG-BT1：Bluetooth に対応し、グリップを握ったまま、動画・静止画の撮影ができる三脚グリップです。

instax プリンター Link シリーズ：撮影した画像を Bluetooth で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

カメラで使えるソフトウェア・サービス

このカメラでは、以下のソフトウェアやサービスを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

スマートフォン用アプリケーション

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです。

https://fujifilm-dsc.com/app/x_half_app/

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや USB ケーブルを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。



電源プラグを
抜く

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや USB ケーブルを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。



水ぬれ禁止

 **風呂、シャワー室では使用しない。**

火災・感電の原因になります。



風呂、シャワー
室での使用禁止

警告

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 一度端子部分が曲ってしまったコネクタは使用しないでください。

**不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

**移動中の使用はしない。**

自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。歩き撮りをする場合には、周囲の状況に注意してください。

**雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。**

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

**指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。**電池は極性（ \oplus \ominus ）表示どおりに入れてください。**電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。**

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

**リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。**

電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。

⚠ 警告

指定外の電池・バッテリーを使用しない。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。



- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
- 自動電源 OFF 温度を高に設定してご使用される場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。



他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。



誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

△ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。



本製品や充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておくとう火災の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。



撮影直後にメモリーカードに触れない。

メモリーカードが高温になり、やけどの原因となることがあります。

温度が下がってからメモリーカードを取り出してください。



定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店または弊社修理サービスセンターにご依頼ください。



本製品を廃棄する場合の処理方法については最寄りの自治体の手順に従うこと。

電源についてのご注意

- ※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

- ※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 別売のバッテリーチャージャー BC-W126S を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が +5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は +10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 長期保管の場合は、電池容量の $\frac{2}{3}$ から半分程度の電池残量で常温保管をお勧めいたします。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が $+15^{\circ}\text{C} \sim +25^{\circ}\text{C}$ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。



バッテリーは、過度な低気圧中に放置しないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。

■ 電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- 電池は、機械的に押し潰し、又は切断しないでください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

充電に関するご注意

- ① 本製品に AC アダプターおよび USB ケーブルは同梱されていません。
- ② カメラ本体で充電する場合は、USB-IF 認証取得の AC アダプター / USB-C to USB-C ケーブルをご使用ください。7.5W 以上を推奨します。
- ③ カメラ本体で充電する場合は必ず本製品の使用説明書をお読みください。
- ④ 全ての市販の AC アダプター、USB ケーブルで充電できることを保証するものではありません。
- ⑤ 市販の AC アダプターを使用した際に不具合が生じたときは、コンセントからプラグ、カメラからケーブルをそれぞれ抜き、電源を遮断してください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Apple、iPhone、iPad、Mac、Mac OS X、OS X、macOS、Lightning、Apple ProRes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Camera to Cloud、Frame.io、Lightroom ならびに Photoshop は Adobe の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- CFexpress は CFA (CompactFlash Association) の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- AirGlu™ は Atomos の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の天敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- スポンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパーソナルコンピューターで使用する場合のご注意

- パーソナルコンピューターで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パーソナルコンピューターでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが4.5mm以下の製品をご使用ください。
- 他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。



本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続しないでください。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社デジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

- 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

2.4DS/OF/XX1

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式、その他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 10m であることを意味しています。

2.4XX1

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 10m であることを意味しています。

- 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
W52 W53 W56

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz 帯（W52）の帯域を使用することができます。

5.2GHz 帯（W52）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

当該無線設備の送信は 5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き屋内においてのみ可能です。

■ **本製品を飛行機の中で使用しないでください。**

本製品の飛行機内での使用については航空会社の指示に従ってください。

本製品は電源オフの状態でも電波を発信することが可能です。搭乗前にネットワーク / USB 設定メニューの**機内モード**を **ON** にすると電波の発信を遮断できます。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

分解禁止 火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。



逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。

太陽光がカメラ内部に直接进入することで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。

太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶついたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラおよびアクセサリをご使用になった後は次のようにお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体およびアクセサリは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体およびアクセサリの革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体およびアクセサリに液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラを保管するときは、レンズキャップを取り付けてください。

ファームウェアの更新

ファームウェアがアップデートされ、機能が追加／変更されたときはファームウェアを更新してください。



最新のファームウェアに更新した場合、カメラの機能は本書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

ファームウェアのダウンロード

あらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードに保存してください。ファームウェアのダウンロード方法などは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

ファームウェアの更新方法

ファームウェアは次の方法で更新できます。

セットアップメニューから更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**基本設定 > ファームウェアアップデート**を選んでファームウェアを更新できます。

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する(手動更新)

スマートフォンアプリケーションを使用している場合は、スマートフォンアプリケーションからファームウェアを更新できます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>



- ファームウェアの更新作業には十分に充電したバッテリーを使用し、更新中は電源を切ったりカメラを操作したりしないでください。ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れると、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファームウェアの更新にかかる時間は、ファームウェアの容量によって変わります。最大で約 10 分かかる場合があります。
- ファームウェア更新後は、更新前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合は、下記をご覧ください。

https://fujifilm-dsc.com/en-int/manual/error_message_recovery/

トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

バッテリー、電源について

症状	処置
ON/OFF（電源）レバーを ON に合わせても電源がオンになりません。	<ul style="list-style-type: none">ご購入時にはバッテリーは充電されていません。バッテリーを充電してください。充電済みのバッテリーを使ってください（図 32）。バッテリーを正しい方向で入れ直してください（図 27）。バッテリーカバーをしっかり閉めてください。
バッテリーの消耗が早いです。	<ul style="list-style-type: none">低温環境下でご使用の場合は、バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。 表示設定 > LCD 明るさで表示の明るさを調整してください。 消費電力設定の設定を変更してください。

症状	処置
使用中に電源がオフになってしまいました。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの残量が不足していないかどうか確認してください (☞ 37)。 • 消費電力設定 > 自動電源 OFF で時間を設定しているときは、その時間が経過すると自動的にオフになります。 • カメラの温度が高くなると、自動的にオフになります (☞ 142)。
カメラの電源が切れません。	インジケータランプの点灯状況を確認してください (☞ 7)。

充電について

症状	処置
充電が開始されません。 (USB 充電時)	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの電源がオンのときは充電は開始されません。電源をオフにしてください。 • バッテリーが満充電されているときは充電は開始されません。 • パーソナルコンピューター、USB ケーブル、カメラの接続状態を確認してください。 • パーソナルコンピューターから充電する場合は、パーソナルコンピューターの電源が入っていることを確認してください。 • バッテリーが低温または高温の場合は、安全上の理由で充電が開始されません。バッテリーの温度が常温に戻ってから再度充電してください。

症状	処置
充電時間がかかりすぎます。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが低温または高温の場合は、安全上の理由で充電が遅くなる場合があります。バッテリーの温度が常温に戻ってから再度充電してください。 • 30W 以上の出力に対応した USB PD 対応電源を使用すると、充電時間が短くなります。
充電中にインジケータランプが点滅して充電できません。	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください (📖 27)。

給電について

症状	処置
給電状態アイコンが表示されません。	USB 給電 / 通信設定を自動または給電 ON/ 通信 OFF にしてください。

メニューなどの設定時

症状	処置
メニューが日本語以外で表示されています。	言語設定を 日本語 にしてください (📖 41、126)。

基本撮影について

症状	処置
シャッターボタンを押しても撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> 記録メディアが正しくセットされているか確認してください。 メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側になっていないかどうか確認してください。 記録メディアの空き容量を確認してください。 メモリーカードなしで撮影する場合は 操作ボタン・ダイヤル設定 > カードなしリリースを ON にしてください。

動画撮影について

症状	処置
動画撮影が勝手に終了してしまいました。	<p>記録メディアの書き込み速度が遅い場合には、録画が停止する場合があります。対応する記録メディアについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは「対応情報（カメラ）」を参照してください。</p> <p>https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/</p>

顔検出について

症状	処置
顔を検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> なるべく顔の全体が見えるようにしてください。 顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。 顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ONにしてください。 カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。 適切な明るさで撮影してください。

フラッシュについて

症状	処置
フラッシュが発光しません。	フラッシュスイッチを 🔼 に合わせてください。
フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。 カメラを正しく構えてください。

撮影した画像の異常について

症状	処置
画像がぼやけています。 画像がブレています。	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードをマニュアルフォーカス以外にしてください。 三脚を使用して撮影してください。また、セルフタイマー撮影機能を使用することをおすすめします。 手持ち撮影する場合は、手ブレを起こさないように、カメラをしっかり構えシャッターボタンを静かに押してください。 暗い場所では、シャッタースピードが遅くなる場合があります。シャッタースピードを速くする、ISO感度を上げる、フラッシュを使用する、などの方法で撮影してください。 AE/AF ロック撮影してください。
存在しないものが写り込んだり、被写体が歪んで記録されます。	<ul style="list-style-type: none"> 光の反射などで、目には映らない特定の現象が画像に写ることがあります。 カメラシステムや光線の特性によって発生する事例をホームページの Q&A でご紹介しています。撮影方法などで現象の発生を抑制することができる場合がありますのでご参照ください。
画像に点状のノイズがあります。	<p>撮像素子の特性* によるもので、故障ではありません。</p> <p>* 撮像素子が X 線や宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点（白、赤、青など）」が生じる場合があります。</p>
画像にノイズが撮影されます。	しばらく電源オフにしたあとでご利用ください (☎ 36、181)。

再生時

1 コマ再生について

症状	処置
画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。
拡大表示できません。	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。

動画再生について

症状	処置
カメラから音が出ません。	<ul style="list-style-type: none"> 再生音量を調節してください (🔊 134)。 動画撮影時はマイクをふさがないでください。 再生中はスピーカーをふさがないでください。

消去について

症状	処置
選択した画像を消去できません。	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください (🔒 82)。
全コマ消去したのに画像が残っています。	

コマナンバーについて

症状	処置
コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります (🔋 143)。

パーソナルコンピューターとの接続について

症状	処置
パーソナルコンピューターがカメラを認識しません。	<ul style="list-style-type: none">• USB ケーブルを確認して正しく接続し直してください (図 92)。• あらかじめ用途に応じた接続モードを設定してから接続してください。• パーソナルコンピューターで使うアプリに対応したカメラの接続モードを設定してください。また、パーソナルコンピューターのアプリ側の設定も確認してください。

無線通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

症状	処置
<p>スマートフォンと接続できません。</p> <p>スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。</p> <p>画像送信が途中で失敗 / 切断します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンを近づけてご使用ください (☎ 89)。 電波を発する機器から離してご使用ください。
<p>スマートフォンに送信できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください (☎ 89)。 操作をはじめからやり直してください。周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。 このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 動画の送信には時間がかかる場合があります。またスマートフォンで再生できない動画は送信できない場合があります。

その他

カメラの動作などについて

症状	処置
カメラのボタンなどを操作しても動きません。	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください (図 27)。• 充電済みのバッテリーを使ってください (図 32)。• USB もしくは LAN の接続モードを確認してください。• インジケータランプの点灯状況を確認してください。解消されない場合は、バッテリーを入れ直してカメラが動作するかご確認ください。
カメラが正常に作動しなくなりました。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください (図 27)。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

音について

症状	処置
音が出ません。	各設定の音量を調整してください (図 132)。

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none">• 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。• 適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直してください。• 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
フォーマットされて いません	メモリーカードが フォーマットされていません。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードがパーソ ナルコンピュータでフォー マットされています。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードの 接触面（金色の部分）が 汚れています。	メモリーカードの接触面 を、乾いた柔らかい布など でよく拭いてください。ま た、フォーマットが必要な 場合があります。それでも 警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換して ください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンター に修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラで フォーマットされていま せん。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードの 接触面（金色の部分）が 汚れています。	メモリーカードの接触面を、 乾いた柔らかい布などで よく拭いてください。 また、フォーマットが必要 場合があります。それで も警告表示が消えない場合 はメモリーカードを交換 してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンター に修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードで す。	弊社動作確認済みの メモリーカードを挿入して ください。
	メモリーカードが壊れて います。	

警告表示	警告内容	処置
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パーソナルコンピューターでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	静止画または動画を記録中にメモリーカードを取り出しました。	記録中はメモリーカードを取り出さないでください。
	書き込み速度の遅いメモリーカードを使用しているため記録できません。	動画撮影時は、設定に適した速度のカードをご使用ください。

警告表示	警告内容	処置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 コマ NO. を 新規 に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を 連番 に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
プロテクトされています	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	プロテクトされているファイルを消去しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。

警告表示	警告内容	処置
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとした。	プリント予約できません。
実行できません	実行できない操作をしようとした。	他のカメラで撮影した画像や動画にはできない操作があります。
実行できません		
!! (黄) 温度が上昇しています	自動電源 OFF 温度が標準のときにカメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。
!! (黄) 温度上限に近づいています 持ち続けしないでください	自動電源 OFF 温度が高のときにカメラの温度が上限に近づいています。低温やけどの恐れがありますので、カメラを持ち続けず、三脚などをお使いください。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。カメラの温度が上昇すると、画像にノイズが多くなる場合があります。
!! (赤) 温度上限に到達しました シャットダウンします	温度が上限に達したため自動的に電源がオフになります。	

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード
			64GB
画質			FINE
静止画	3:4		5850
動画	1080		697分



1回の動画撮影で連続して記録できる時間は60秒です。

主な仕様

システム

製品名	FUJIFILM X half
製品型番	FF240003
有効画素数	約 1774 万画素
撮像素子	13.3mm × 8.9mm (1 inch) 原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード* (弊社推奨品)
メモリーカードスロット	SD カード (UHS-I 対応)
記録方式	<ul style="list-style-type: none">• 静止画：DCF2.0 準拠• 圧縮：Exif Ver.2.31 JPEG 準拠 / DPOF 非対応• 動画：H.264 規格準拠• 音声：<ul style="list-style-type: none">- LPCM (2ch：16bit 48kHz サンプリング)- AAC (MP4 記録時のみ)

システム

記録画素数	<ul style="list-style-type: none"> • 1 コマ撮影 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">L 3:4 (3648 × 4864)</td> <td style="width: 50%;">S 3:4 (1080 × 1440)</td> </tr> <tr> <td>M 3:4 (2160 × 2880)</td> <td></td> </tr> </table> • 1 コマ撮影 (1:1 フレーム合成) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">L 1:1 (4864 × 4864)</td> <td style="width: 50%;">S 1:1 (1440 × 1440)</td> </tr> <tr> <td>M 1:1 (2880 × 2880)</td> <td></td> </tr> </table> • 2in1 撮影 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">L 3:2 (7296 × 4864)</td> <td style="width: 50%;">S 3:2 (2160 × 1440)</td> </tr> <tr> <td>M 3:2 (4320 × 2880)</td> <td></td> </tr> </table> • 2in1 撮影 (1:1 フレーム合成) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">L 1:1 (7296 × 7296)</td> <td style="width: 50%;">S 1:1 (2160 × 2160)</td> </tr> <tr> <td>M 1:1 (4320 × 4320)</td> <td></td> </tr> </table> 	L 3:4 (3648 × 4864)	S 3:4 (1080 × 1440)	M 3:4 (2160 × 2880)		L 1:1 (4864 × 4864)	S 1:1 (1440 × 1440)	M 1:1 (2880 × 2880)		L 3:2 (7296 × 4864)	S 3:2 (2160 × 1440)	M 3:2 (4320 × 2880)		L 1:1 (7296 × 7296)	S 1:1 (2160 × 2160)	M 1:1 (4320 × 4320)	
L 3:4 (3648 × 4864)	S 3:4 (1080 × 1440)																
M 3:4 (2160 × 2880)																	
L 1:1 (4864 × 4864)	S 1:1 (1440 × 1440)																
M 1:1 (2880 × 2880)																	
L 3:2 (7296 × 4864)	S 3:2 (2160 × 1440)																
M 3:2 (4320 × 2880)																	
L 1:1 (7296 × 7296)	S 1:1 (2160 × 2160)																
M 1:1 (4320 × 4320)																	
レンズ	<ul style="list-style-type: none"> • 名称：フジノン単焦点レンズ • 焦点距離：f=10.8mm (35mm 判フィルム換算：約 32mm) • 開放 F 値：F2.8 																
最短撮影距離 (レンズ先端からの距離)	約 0.1m																
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画：ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO1 ~ 3 • 動画：ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO 																
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> • TTL256分割測光 • マルチ 																
露出制御	プログラム、シャッター優先、絞り優先、マニュアル																
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画：-3EV ~ +3EV (1/3 段ステップ) • 動画：-2EV ~ +2EV (1/3 段ステップ) 																

システム	
シャッタースピード	メカニカルシャッター <ul style="list-style-type: none"> • Pモード：1/4秒～1/2000秒 • Aモード：30秒～1/2000秒 • S/Mモード：15分～1/2000秒
連写	なし
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> • モード：シングルAF、コンティニュアスAF、マニュアルフォーカス（リング回転式） • AF方式：コントラストAF、AF補助光付き • AFフレーム選択： <ul style="list-style-type: none"> - 静止画：シングルポイント、エリア選択 - 動画：オートエリア、エリア選択
ホワイトバランス	オート、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3、電球、水中
セルフタイマー	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画：OFF、2秒、10秒 • 動画：OFF、3秒、5秒、10秒
フラッシュ	方式：LEDフラッシュ
ホットシュー	なし
シンク口接点	なし
シンクローターミナル	なし
ファインダー（OVF）	逆ガリレオ式ファインダー、ファインダー倍率約0.38倍
ファインダー（EVF）	なし
液晶モニター（LCD）	2.4型カラー液晶モニター、約92万ドット、タッチパネル付き

システム

動画 (ステレオ音声付き)

- 画像サイズ：
 - シングル：FHD 3:4
 - 2in1 撮影：FHD 3:2
 - 1:1 フレーム合成：FHD 1:1
- フレームレート：24P
- 記録 / 出力形式：H.264 (MOV/MP4、4:2:0 8bit、50/20/10Mbps)

スロー動画

- 画像サイズ：
 - シングル：FHD 3:4
 - 2in1 撮影：FHD 3:2
 - 1:1 フレーム合成：FHD 1:1
- 撮影フレームレート：28P (120%)、36P (150%)、48P (200%)

入出力端子

ヘッドホン出力端子

付属のヘッドホン用アダプターで USB 端子から変換

デジタル入出力

USB 端子：USB Type-C® USB2.0

電源部、その他

電源

充電式バッテリー NP-W126S (付属)

バッテリー作動可能
枚数 / 時間の目安

- バッテリー：NP-W126S
- 撮影モード：Pモード

静止画撮影枚数

パフォーマンス	LCD	OVF
ノーマル	約 510 枚	約 880 枚
エコノミー	約 560 枚	約 880 枚

1 回の充電で撮影できる合計動画時間

画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
HD	約 95 分	約 165 分
スロー動画*	約 85 分	—

* フレームレート 48fps の場合

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

- **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなり、時間は短くなります。

電源部、その他

本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	105.8mm × 64.3mm × 45.8 (30.0°) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記
本体質量	約 191g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
撮影時質量	約 240g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
動作環境	<ul style="list-style-type: none">• 温度：0℃～+40℃ (バッテリー充電時：+5℃～+40℃)• 湿度：10%～80% (結露しないこと)

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none">• アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、中国、インド、韓国、マレーシア、インドネシア ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch) ：5180 MHz～5240 MHz (W52)• EU 加盟国、イギリス、日本、オーストラリア、ノルウェー、ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、レバノン、ウズベキスタン、イスラエル ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch) ：5180 MHz～5240 MHz (W52)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

ワイヤレス通信

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.5.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz ~ 2480 MHz

バッテリー NP-W126S

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃~+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g



仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
 使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
 説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

【数字】

- 1:1 フレーム合成、84
- 2in1 撮影、54
- 2in1 撮影順、131

【A～Z】

- AE/AF ロック、71
- AF (オートフォーカス)、62
- AF 合焦音量、132
- AF ロック、71
- AF 警告、7, 177
- AF 補助光、120
- AF モード、64, 120
- Bluetooth ON/OFF、100
- Bluetooth 機器一覧、100
- Bluetooth/スマートフォン設定、99
- FUJIFILM instax Link、95
- instax 画質モード、86, 102
- instax プリンタープリント、86, 97
- ISO 感度、69
- LCD (液晶モニター)、8, 12
- LCD 明るさ、10, 136
- LCD 鮮やかさ、10, 136
- LCD 色調整、136
- LED インジケーター、135
- MF アシスト、120
- REC 開始終了音量、133
- REC 枠表示、110
- SD/SDHC/SDXC メモリーカード、30
- USB カードリーダー、92
- USB 給電 / 通信設定、102
- USB ケーブル、35, 92

【あ】

- アイセンサー、10, 135
- アクティビティレコード、127
- 位置情報記録、144
- 位置情報表示、138
- 色温度、115
- インジケーターランプ、7, 111
- 液晶モニター (LCD)、8
- エリア設定、125
- オートフォーカス (AF) 撮影、62
- オプション品 (別売アクセサリ)、146
- お手入れについて、164
- オーディオ設定 (撮影メニュー)、121
- オートパワーオフ (自動電源 OFF)、141
- 音設定 (セットアップメニュー)、132
- 温度保護機能、47

【か】

- カードなしリリース、139
- 海外で使うとき、157
- 顔検出 / 瞳 AF 設定、118
- 風音低減、122
- 画質設定 (撮影メニュー)、112
- カスタム設定 (セットアップメニュー)、130
- 画像サイズ、106
- カメラで使えるソフトウェア・サービス、147
- 感度 (ISO 感度)、69
- 機内モード、101, 161
- 基本設定 (セットアップメニュー)、124
- 給電状態、34
- 記録画素数、184

グレイン・エフェクト、113
言語、41, 126
工場出荷時（リセット）、128
コマ NO.（コマナンバー）、143
コンタクトシート背景色、131
コンティニュー AF、63

【さ】

再生音量、134
再生画面とパトローネ画面の切り替え、86
再生時の表示画面、74
再生メニュー、xv, 79
撮影画像表示、137
撮影時の表示画面、8
撮影設定（撮影メニュー）、106
撮影メニュー、xii, 105
撮影モード、48, 106, 108
サポート Web サイト、129
サマータイム、125
自動電源 OFF（オートパワーオフ）、141
自動電源 OFF 温度、142
絞りリング、4
シャッター音、134
シャッター音量、133
シャッター回数、129
シャッタースピード、185
消去、78, 79
消費電力設定（セットアップメニュー）、
141
情報表示、137
初期化、128
初期設定、38
シングル AF、63
スマートフォンアプリケーション、22, 89
スマートフォン位置情報同期、100
スライドショー動画作成、85
スロー動画、108
静止画 / 動画切替スイッチ、4
世界時計、126
セットアップメニュー、xiii, 123
セルフタイマー、107, 109
セルフタイマー音量、132
操作音量、133
操作ボタン・ダイヤル設定（セットアップ
メニュー）、139
ソフトウエア、147

【た】

ダブルタップ拡大、140
タリーランプ、111
長秒時ノイズ低減、116
手ブレ、44
電源、36
電子水準器、11
電子水準器設定、137
動画設定（撮影メニュー）、108

【な】

内蔵マイクレベル設定、121
名前、101
日時設定 / 日時変更、41, 125
認証、129
ネットワーク / USB 設定初期化、103
ネットワーク / USB 設定メニュー、xiv, 99

【は】

バッテリー、27, 32, 37
パフォーマンス、142
被写界深度確認、68
日付入り撮影、131
ビットレート、108
美肌レベル、113
ビューファインダー、6
表示設定（セットアップメニュー）、135
標準撮影枚数 / 記録時間、182
ピントの確認、68
ファームウェアアップデート、127
ファームウェアの更新、165
ファイル形式、109
フィルター、50
フィルタリング、84
フィルムカメラモード、15, 56
フィルムシミュレーション、50
フィルムシミュレーション / フィルター設定、112
フォーカス設定（撮影メニュー）、117
フォーカスモード、63, 64, 117
フォーカスリング操作、139
フォーマット（初期化）、124
フラッシュスイッチ、6
フレーミングガイド、138
フレーム切り替えレバー、5
プロテクト、82
分割線設定、130
ペアリング、99
別売アクセサリ、146
ヘッドホン音量、121

保存設定（セットアップメニュー）、143
ホワイトバランス、114

【ま】

マイクレベル表示、138
マイクレベルリミッター、122
マニュアルフォーカス、63
マニュアルフォーカス撮影、66
無線通信周波数設定、101
銘板プレート、6

【5】

リセット、128
レーティング、83
ローカットフィルター、122
露出補正、70
露出補正ダイヤル、4

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

デジタルカメラ Q&A または本書の「トラブルシューティング / FAQ」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

デジタルカメラ Q&A :

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたはフジフィルム イメージングサービスカウンターに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 修理 / メンテナンスのご依頼は、下記 Web サイトよりお申込みください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>
- Web サイトからお申込みが出来ない場合は、本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付し、修理をご依頼ください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、必要事項に記入をお願いします。
なお、見積は有料となる場合があります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品などに交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客さまの個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守いたします。

- お問い合わせ時あるいは修理依頼時にお客さまからご提供いただいた、お客さまのお名前・住所・電話番号・メールアドレスなどの個人情報は、以下に定める目的の範囲内で利用いたします。
 - ① お客さまからいただいたお問い合わせに対する回答
 - ② 修理・サポート及び関連する製品・サービスの情報提供
 - ③ お客さま応対品質向上のため、及び製品・サービスに関する企画、開発、販促、その他事業活動のためのアンケート調査の実施
 - ④ 製品カタログなどの資料発送
 - ⑤ 個人情報保護法その他法令で認められた利用目的
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。
開示にあたりましては、盗難・漏洩などの事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- お問い合わせいただいた内容により、当社製品・サービスを提供する当社関係会社にて対応することが適切と当社で判断した場合、上記利用目的の範囲内でお客さまの個人情報を当社関係会社に開示することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社における個人情報の取り扱いについては、「プライバシーポリシー」をご覧ください。
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/privacy>
- お問い合わせ時あるいは修理依頼時の内容などにつきましては、個人を特定できないよう統計的なデータに加工した上で、サービス向上のために利用いたします。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせなどは、富士フィルム デジタルカメラサポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいはフジフィルム イメージングサービスカウンターにお願いいたします。

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL 0570-04-1060

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX
03-6625-2809 050-3786-2060

※メールでのお問い合わせ、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/contact/>



●修理に関するご相談受付窓口は・・・

富士フイルム修理サービスセンター

TEL 0570-04-1040

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX
03-6625-2810 050-3786-2040

■修理品の送付先

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1

※修理に関するサービス内容、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>



●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 0570-04-1711

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

